（別　冊）

２０１９年2月２６日

２０１９年度
（平成３１年度）

各地方向け
地域放送番組編集計画

目　　次

関東甲信越地方　・・・・・・・・・・・・・　１

近畿地方　・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

中部地方　・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

中国地方　・・・・・・・・・・・・・・・・　２７

九州沖縄地方　・・・・・・・・・・・・・・　３３

東北地方　・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

北海道地方　・・・・・・・・・・・・・・・　５０

四国地方　・・・・・・・・・・・・・・・・　５５

２０１９年度　関東甲信越地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

関東甲信越地方に暮らす視聴者の命と安全を守るため、管内の放送局と連携して、防災や減災につながる報道を積極的に展開します。災害発生時には、テレビ、ラジオ、データ放送、インターネットなど多様なメディアを通じて、視聴者が求める正確な情報を迅速に届けます。首都直下地震に備えて、取材・制作体制の整備を着実に進めます。

開催まで１年に迫った「東京オリンピック・パラリンピック」に関するニュースや番組をさらに充実させます。関東甲信越ゆかりのアスリートや会場となる地域の取り組みなどを伝え、大会への機運を盛り上げていきます。オリンピックを前に変貌する首都圏の姿や課題を掘り下げるほか、パラスポーツの紹介を通じて共生社会への理解を促すなど、幅広い視点で伝えます。

事件・事故に迅速に対応し、的確な情報発信と、背景や影響などを探る報道の充実に努めるほか、統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）や第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）では、視聴者の関心に応えながら正確・迅速な報道を実施します。加速する人口減少と高齢化、増える外国人労働者、地域経済など、４８００万人を擁する関東甲信越の多様な課題に向き合い、ニュースや番組へとつなげていきます。

地域に寄り添い、頼りにされる放送局として、関東甲信越各放送局の県域放送を充実させます。地域の魅力や課題を丁寧にすくいあげ、活用方法や解決への糸口についてともに考えるほか、全国や世界への発信にも努めます。独自のテレビ波を持たない、横浜、千葉、さいたまの各放送局は、首都圏放送センターとの取材・制作体制の一体化を進め、発信力を強化します。

公共メディアへの進化を見据え、首都圏独自のデジタル展開を強化します。ニュース・企画の動画発信を拡充し、インターネットでの独自企画やツイッター等ソーシャルネットワーキングサービスのさらなる活用で、現役世代に確実に届くよう工夫します。本放送が始まった４K・８K番組の制作本数を増やして、超高精細映像の魅力を広く伝え、スーパーハイビジョン放送の浸透に貢献します。

≪各局の重点事項≫

東京・首都圏放送センター

○ 命と安全を守るため、防災・減災につながる報道を積極的に展開します

上陸が相次ぐ台風や記録的な豪雨など、かつてない規模の自然災害によって地域の産業や暮らしに大きな被害が出るおそれがあります。被害を抑えるために、視聴者が必要とするきめ細かな情報を、テレビ、ラジオをはじめ、データ放送、インターネットといったさまざまなメディアを駆使して正確かつ迅速に届けていきます。日頃から防災・減災報道を充実させるとともに、首都直下地震などに備えた取材・制作体制を強化し、安全・安心を確保する取り組みを続けていきます。

○「東京オリンピック・パラリンピック」関連のニュース、番組を充実させます

関東甲信越ゆかりの選手や、会場となる東京や近隣県の期待などを紹介し、開催まで１年に迫った大会の機運を盛り上げるとともに、競技場建設などさまざまな動きや運営の課題などを多角的に捉えて伝えていきます。パラリンピックの競技や選手に一層親しんでもらうための企画や番組を、アニメなど多様な手法で制作、発信し、障害者スポーツへの関心を高めていきます。さらにさまざまなバックグラウンドを持った人々がともに生きる社会のあり方など、大会をきっかけに浮き彫りになった首都圏の課題を見つめていきます。

○ 関東甲信越の事件・事故への的確な対応と、正確・迅速な選挙報道に取り組みます

大規模な事件・事故に的確に対応し迅速に伝えるほか、その背景や影響などを丁寧に取材し、視聴者の関心に応える報道を目指します。統一地方選挙や参議院議員選挙では、関東甲信越の放送局と連携した取材・制作体制を構築し、正確・迅速な報道を実施します。首都圏のこれからを見据え、少子高齢化、介護、外国人労働者といった社会や暮らしに大きな影響をもたらす課題を掘り下げて伝えるシリーズ企画や番組の制作にも積極的に取り組んでいきます。

○ 南関東エリアの地域情報の充実、強化を目指します

人口３６００万を超える東京、神奈川、千葉、埼玉の南関東エリアについて、文化や歴史、自然などの魅力を改めて見つめ直すとともに、都市圏に暮らす人たちが抱える固有の課題を粘り強く取材し、ニュースや番組としての発信を強化します。首都圏放送センターと南関東の３つの放送局が一体となって、情報の発掘や取材制作を進め、南関東エリア向けの放送の充実や地域貢献につなげていきます。

○ 公共メディアを意識した多様な情報発信に取り組みます

首都圏放送センターのホームページやツイッターアカウントを活用し、ニュース・企画・番組の短い動画を掲載するなど、インターネットでの発信を強化し、現役世代の接触率の向上やテレビ視聴への誘導を図ります。“東京２０２０”関連の企画や番組は、関係部署と連携してインターネット独自のコンテンツを充実させ、幅広い年層の接触を目指します。４K・８K番組は制作本数を増やし、スーパーハイビジョン放送に寄与していきます。

横浜放送局

○９００万人を超える県民の命と暮らしを守り、地域の多様な課題に向き合います
　大地震や、津波、火山の噴火などの大規模災害に加えて台風や局地的な豪雨などの自然災害に迅速に対応するため、首都圏放送センターと一体化した取材・制作体制の整備をさらに進めるとともに、放送だけでなくインターネット等のさまざまな伝送路で命を守るための情報を伝えます。また、統一地方選挙や参議院議員選挙では、正確・迅速な報道を実施します。頻発する大事件・事故に迅速に対応するとともに、背景や影響などを掘り下げる調査報道の充実に努めます。人口減少や高齢化、医療福祉、教育、経済格差や、外国人労働者の活用など、地域の抱える課題と向き合い解決の糸口を探ります。

○障害者殺傷事件の取材・制作を通し、今後の社会の構築に資する報道を展開します
　１９人の大切な命が奪われた相模原市の障害者施設殺傷事件から７月で３年になります。被告の裁判を通して明らかになる事件の詳細な動機や背景を伝えるとともに、このような事件が二度と起きない社会にするために、遺族の思いや関係者の声、そして差別や偏見を無くす取り組みなどを継続して伝えます。

○「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた情報発信をさらに強化します
　開催まで１年に迫った「東京オリンピック」では、神奈川県内で、セーリング、野球・ソフトボール、サッカーなどの競技が行われます。準備の状況や課題、地元の期待などをきめ細かく伝えます。また、横浜市を中心に、アジアでは初めての「ラグビーワールドカップ２０１９」が開催されます。大会の模様とともに、地元の盛り上がりや、ラグビーを通した交流などを、放送やイベントで幅広く伝えます。

○神奈川の多彩な魅力を全国・世界へ向けて発信します
　自然、歴史、文化・芸術、国際交流など、神奈川、国際都市・横浜の魅力を全国や世界に向けて積極的に発信し、地域の活性化に貢献します。また、スーパーハイビジョン（４Ｋ・８Ｋ）番組の制作に積極的に取り組むとともに、イベント等を通して、超高精細映像と驚異の臨場感を作り上げる音響の魅力をより多くの視聴者に伝えます。

○ラジオ番組の発信力を強化します
　ＦＭ定時番組の内容をさらにブラッシュアップし、聴取者の満足度を高めるとともに、全国放送に積極的に展開し、神奈川の魅力をより多くの視聴者に届けます。定期的に開催しているスペシャルジャズライブなど、公開放送をより充実させます。

○自治体や地域と連携し、放送やイベントを通して地域の活性化に貢献します
　横浜市が３年に１度開催する音楽フェスティバル「横浜音祭り２０１９」と連携した放送・イベント展開や、同じ施設にある神奈川芸術劇場とのコラボレーションなど、地域とともにつくるコンテンツ展開を通して、ＮＨＫの存在感を高めます。

前橋放送局

○ 防災・減災に向けて、迅速に役立つ報道を一層充実させます

２０１８年１月に噴火した草津白根山をはじめ日光白根山、浅間山などの火山噴火、地震、台風、豪雨、突風などの自然災害から県民の命と暮らしを守るため、取材・放送体制を一層強化します。地域の安全・安心の拠点として、災害発生時には、本部や近隣の放送局と連携し、Ｌ字型画面やＬアラートを活用しながら、県民の的確な避難行動や被災者の生活支援などにつながる正確でわかりやすい情報を、テレビ、ラジオ、データ放送、インターネットなど多様なメディアで迅速に伝えます。

○ ２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた放送を充実させます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、活躍が期待される地元アスリートや参加する国や地域との交流事業を担うホストタウンの話題など、地域や県民の取り組みを多角的に取り上げます。また、障害者スポーツを巡る動きや競技の魅力を積極的に伝え広く発信していきます。

○ 地域の課題を深く掘り起こし、解決の道を探る情報発信に取り組みます

少子高齢化による人口減少は、経済格差や伝統文化の継承、高齢者の孤立など、さまざまな生活の場面で深刻な影響を及ぼしつつあります。また外国人の受け入れ増加に伴い、共生のための新たな取り組みが行われています。こうした現状や課題を伝え、多角的な検証を通じて課題解決の気付きを得る機会を視聴者に提供し、打開策をともに考えていきます。地域放送サービスのさらなる充実のため、県民の関心が高いテーマをタイムリーに深く掘り下げ伝えます。そして、群馬の未来を明るくすることを目指し、県内の高校生など若い世代の活動を、積極的に発信します。また、群馬県が墜落現場となった「日航ジャンボ機墜落事故」について、惨事の記憶を風化させないよう、社会の安全を願う遺族の思いを継続取材します。

○ 群馬県の多彩な魅力を取材し、その知名度を高めて地域の活性化に貢献します

群馬県は、ユネスコ「世界の記憶」へ登録された「上野三碑」や世界文化遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」などの歴史や伝統文化、さらに６５年ぶりに大規模な総合学術調査が実施されている「尾瀬国立公園」や「みなかみユネスコエコパーク」など、世界に誇るべき豊かな自然・観光資源に恵まれています。そうした多彩な魅力を発信し、群馬の知名度と県民の“ふるさとへの誇り”を一層高めて、地域の活性化に貢献します。

○ 的確な選挙報道に取り組みます

統一地方選挙をはじめ、群馬県知事選挙（任期満了日・２０１９年７月２７日）、参議院議員選挙など、県内の各選挙について、争点や地域への影響などをわかりやすく伝えます。そして有権者の判断のよりどころとなる情報を、公平・公正かつ正確・迅速に報じ、視聴者の期待と信頼に応えます。

水戸放送局

○ 地域の安全・安心の拠点として、命と暮らしを守る報道に全力を尽くします

地域の安全・安心の拠点として、日頃から防災・減災に役立つ情報を提供するとともに、各地の防災専門家とネットワークを築くなど、災害報道の体制強化をさらに進めます。災害発生時には、テレビ・ラジオの放送に加え、Ｌ字型画面やデータ放送、インターネットでマルチ発信を行い、きめ細かい情報で県民の命と暮らしを守る報道に全力を尽くします。東日本大震災や関東・東北豪雨については、記憶の風化も指摘される中、被災地の現状や課題を継続的に伝え、復興を支援します。

○ より身近で信頼される放送局を目指して、平日午後６時台を一層充実させます

茨城県内唯一のテレビ局として、より身近で信頼される放送局を目指し、働き方改革の推進など効率的な業務体制を築きながら、平日午後６時台のニュース・情報番組を一層充実させます。各地からの中継を積極的に行うなどライブ感を大切にしながら、スタジオでの記者や専門家の解説、ＮＭＡＰＳの活用でわかりやすい放送を目指します。

○ 地域の課題と“これから”に向き合い、判断のよりどころとなる情報を伝えます

人口減少や医師の偏在など、茨城が抱える課題と“これから”に向き合い、判断のよりどころとなる情報を多角的に伝えることで、課題解決の手がかりを視聴者と探っていきます。再稼働の是非が争点となっている東海第二原子力発電所については、３０キロ圏内に住む全国最多９６万人の広域避難問題や自治体の動きをわかりやすく伝えます。

○ 茨城の魅力を全国や世界に発信し、地域の活性化に貢献します

民間の調査会社による都道府県の魅力度ランキングで、６年連続の最下位の茨城県。豊かな自然や歴史、文化など地域の魅力を掘り起こし、全国第３位の産出額を誇る“農業”、最先端の研究・学術機関が集まるつくば市の“科学”など、茨城県の底力や可能性をスーパーハイビジョン（４Ｋ・８Ｋ）制作の番組も含めて全国や世界に発信し、地域の活性化に貢献します。

○ スポーツの魅力を伝え、国体や“東京２０２０”に向けた地元の機運を高めます

サッカーＪリーグやバスケットボールＢリーグ、県内出身力士が活躍する大相撲や高校野球など幅広いスポーツを、中継を含めてたっぷりと伝えます。秋に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」や「いきいき茨城ゆめ大会」では、開会式や注目の競技の放送を通じて県代表選手の活躍を後押しし､「東京オリンピック･パラリンピック」に向けては、茨城ゆかりのトップアスリートをはじめ、ホストタウンとして海外のチームを受け入れる自治体の動き、聖火リレーへの取り組みなどを取り上げ、地元の機運を高めます。

○ 公平・公正、正確・迅速な選挙報道で視聴者の信頼に応えます

春の統一地方選挙や夏の参議院議員選挙をはじめ各種選挙では、地域の課題や選挙の争点などをインターネットも含めてわかりやすく伝えるとともに、公平・公正、正確・迅速な報道で視聴者の信頼に応えます。

千葉放送局

○ 県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を尽くします

県内の自治体やＦＭ局など関係機関との連携を進めて取材体制を強化し災害に備えるとともに、発災時にはテレビ、ラジオ、データ放送、インターネットなどを駆使して視聴者が知りたい情報をいち早く提供します。東日本大震災を教訓に千葉県東方沖や首都直下などの大地震に備えた防災や減災に役立つ取り組みを積極的に取材し発信することで県民の防災意識の向上につなげます。

○「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて多彩な情報を発信します

目前に迫った東京大会に向けて、活躍が期待される地元選手や地域の取り組みを紹介するとともに、大会を支えるボランティアの課題、競技会場のセキュリティーやバリアフリーの課題などを掘り起こして伝えます。放送と連動したイベントも活用し、障害者スポーツの魅力の発信に力を入れ県民の関心を高めることで、多様な価値を認め合いともに生きる社会の実現に貢献します。

○ 千葉の“いま”を見つめ地域の課題を多角的に伝えます

成田空港の運用時間の延長や滑走路増設の動きと周辺地域への影響、農林水産業をはじめとする地域振興の課題、少子高齢化と人口減少、外国人労働者の増加が地域社会にもたらす影響など“都市と地方の課題を併せ持つ千葉”の現状を幅広く取材して伝えます。また、事件・事故の背景を掘り下げて伝えるとともに、住民の安全・安心につながる情報を発信します。

○ 千葉の多彩な魅力を全国や世界に向けて発信します

豊かな自然や歴史・文化、地域で活躍する人たちを見つめる番組を制作し全国に伝えるとともに、国際放送を通じて世界に発信する機会を増やし外国人観光客の誘致や国際交流に貢献します。

○ ＦＭ県域放送で“千葉の元気”を応援します

野球、サッカー、バスケットボール、ラグビーなど県内のさまざまなスポーツ競技や芸術・文化など幅広い分野で活躍し地域を活気づけてくれる人たちをＦＭ県域放送で積極的に紹介して応援します。

○ “地域とつながる”取り組みを展開して放送局の存在感を高めます

多彩な公開番組やイベントを県内各地で実施し視聴者との結びつきを強めます。また、ＦＭ県域放送やインターネットを通じて千葉の魅力を多角的に発信し、より地域に親しまれ信頼される放送局を目指します。

宇都宮放送局

○ 防災・減災報道に全力で取り組みます

県民の命と暮らしを守る情報拠点として、地震や台風をはじめとしたさまざまな災害の情報を正確かつ迅速にお伝えします。高温注意情報など日々の暮らしに密接に関わる気象情報も、テレビ・ラジオとともにデータ放送、インターネットでマルチ発信し、視聴者が知りたい情報をきめ細かくお伝えします。また、気象庁が常時観測している活火山の那須岳と日光白根山についても、防災につながる情報発信に取り組みます。

○ 公平・公正、正確・迅速な選挙報道に取り組みます

統一地方選挙や参議院議員選挙をはじめとする各種選挙において、地域の課題や選挙の争点などをわかりやすく伝えるとともに、公平・公正、正確・迅速な報道を行い、視聴者の期待と信頼に応えます。

○ 地域の課題に向き合い、ともに考えるニュースや番組を制作します

日光や那須地域など全国有数の観光地を抱え、農業や工業も盛んな栃木の魅力を全国に伝えるとともに、地域が抱えている少子高齢化や担い手不足による農業や祭りなどの伝承の課題、人口減少による県内経済や観光等への影響、さらに医療、教育、外国人労働者との関わりなどの課題を積極的に取材し、現場の生の声を掘り起こして、放送につなげていきます。また、こうした課題の解決に向けて、視聴者とともに考えるニュースや番組を放送します。多発する特殊詐欺事件をはじめ、事件・事故も積極的に取材・放送し、県民の暮らしの安全・安心につなげます。

○ 地元の人たちに愛される、地域密着の放送、視聴者サービスに取り組みます

栃木ならではの食文化、伝統、豊かな自然や歴史といった、身近な話題を積極的に取り上げ、県内のみならず全国・世界にも広く発信します。地元“栃木”を学び、楽しめる放送に取り組むとともに、地域に根ざしたイベントと放送の融合や、データ放送を利用した双方向番組など、視聴者がＮＨＫに親しみを感じてもらえるようなサービス向上を目指します。金曜午後７時台の地域放送番組では、今後も県内の魅力の発信や地元で頑張る人々を追いかけたドキュメンタリーなど、さらに内容を充実させた放送になるように努力し、視聴習慣の定着を図ります。

○ 栃木のスポーツを盛り上げ、未来のアスリートたちも応援します

目前に迫った２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」、さらには２０２２年に栃木県で開催される「とちぎ国体」に向けて、日々練習に励んでいる地元出身選手を取材し、栃木のスポーツを応援します。バスケットボールＢリーグ初代王者に輝いた「栃木ブレックス」をはじめとする県内のプロスポーツチームの活動や、それを支える人々の姿も追いながら、県民に関心の高いスポーツ情報をいきいきと幅広く発信していきます。

さいたま放送局

○ 地域の安全・安心の拠点として埼玉県民の命と暮らしを守る報道に尽力します

　地震や豪雨による大規模な災害が全国各地で発生する中、全国で５番目に人口が多く、河川面積の割合が日本一の埼玉県は、首都直下地震や豪雨による河川の氾濫で多数の被災者が出ることが想定されます。災害発生時やそのおそれがある場合に備えてテレビやラジオ、データ放送、インターネットで多角的に伝える訓練を重ね、防災・減災に役立つ情報発信を行って県民７３０万人の命と暮らしを守る取り組みを続けます。また、大規模な事件・事故に際して的確に対応し迅速に伝え、その背景なども丁寧に取材し、視聴者の期待に応える報道を目指します。

○ 大規模災害時に本部のバックアップ機能の使命を果たします

　首都直下地震などで東京の放送センターが被災し機能が停止した場合、さいたま放送局報道別館からの関東広域向けラジオ放送などに全力を挙げて取り組みます。万一の事態に公共メディアとしての使命を的確に果たせるよう、日頃から本部と連携しながら報道別館での訓練を行うとともに、大規模災害時の取材、放送、ロジスティックスの体制も整えていきます。

○ 公平・公正、正確かつ迅速な選挙報道に取り組みます

　埼玉県では、統一地方選挙、参議院議員選挙に加えて埼玉県知事選挙（任期満了日・２０１９年８月３０日）も予定されています。さいたま放送局では、それぞれの選挙における課題や争点などを公平・公正に伝え、正確・迅速な報道で視聴者の信頼に応えます。

○ 「東京オリンピック・パラリンピック」などに向けた情報発信を強化します

　埼玉県内でも競技が行われる「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、埼玉ゆかりの有力選手や運営ボランティアなどの話題を多角的に発信していくほか、放送やイベントと連携して県内の機運を高めていきます。また、県内に試合会場がある「ラグビーワールドカップ２０１９」の情報やサッカーＪ１「浦和レッズ」、サッカーＪ２「大宮アルディージャ」、プロ野球「埼玉西武ライオンズ」、卓球など、県内の多様なスポーツの情報も発信し、スポーツ王国・埼玉を盛り上げます。

○ 多彩なメディアで埼玉県の魅力を全国・世界へ発信します

　埼玉県の豊かな自然や文化、そこで暮らす人々の魅力を、テレビ・ラジオ・インターネットなど、多彩なメディアを通して全国・世界へ発信します。また、タッチポイントを増やすため、地元の放送メディアやイベントとも連携するなど、視聴者コミュニケーション推進に取り組みます。さらに、本放送が始まったＢＳ４Ｋ・ＢＳ８Ｋでも埼玉県の魅力を超高精細な映像で伝えていきます。

長野放送局

○ 県民の命と暮らしを守る防災・減災報道を充実させます

全国で地震や大雨、猛暑など災害や異常気象が頻発する中、長野県でも地震や火山噴火、土砂災害などへの備えが重要です。県民の命と暮らしを守る放送局として、災害への備えを万全にし、万一の際は必要かつ十分な防災・減災報道を実施します。状況に応じてテレビやラジオ、インターネット、データ放送、Ｌ字型画面などさまざまなメディアを使い分けながら的確かつ迅速に情報を発信します。また、御嶽山噴火などの被災地について、現状や課題を丁寧に伝えるなど、復興を後押しする放送を展開します。

○ 正確・迅速、公平・公正な選挙報道に取り組みます

各種選挙の報道は、公平・公正、正確さを第一に心がけます。参議院議員選挙や県議会議員選挙（任期満了日・２０１９年４月２９日）の統一地方選挙など、有権者の関心が高い選挙については、万全の態勢で臨み、選挙の争点や地域の課題などをわかりやすく伝えるとともに、正確・迅速に結果を伝え、視聴者の信頼に応えます。

○ 信州の魅力を全国や世界に発信して地域活性化に貢献します

信州の豊かな自然や農産物、歴史・文化、それに地域の人たちなど、信州の魅力を発掘・再発見し、ニュースや番組など、さまざまな形で発信します。こうした信州の魅力を伝えるためにスーパーハイビジョン（４Ｋ・８Ｋ）での制作に力を入れるとともに、すばらしい自然や歴史、人々を描く「信州発地域ドラマ」の制作などを通じて地域を盛り上げます。

○ 信州の課題に向き合い、課題解決に役立つメディアを目指します

少子高齢化や医師不足、農林業の衰退などの課題、外国人観光客増加などの新たな動きについて深く丁寧に取材し、ニュースや番組でわかりやすく伝えます。信州が抱える課題を多角的に検証して発信することで、地域の課題解決に向けた手がかりを探ります。

○ 地域のスポーツを積極的に紹介し、地域を元気にします

地域のスポーツ“応援団”として、サッカーＪ１に復帰した「松本山雅ＦＣ」、注目を集める大相撲の郷土出身力士など、信州のプロスポーツ選手・チームの話題を積極的に伝えます。また、来年度に迫った「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す県内のアスリートたちをはじめ、高校野球やマラソン、男子バレーボールＶリーグ「ＶＣ長野トライデンツ」や、男子バスケットボールＢリーグ「信州ブレイブウォリアーズ」などの情報も伝え、地域のスポーツ振興に貢献します。

新潟放送局

○ 県民の安全と安心を最優先に情報を伝えます

大雨や大雪、地震などの自然災害が多発する中で、地域の命と暮らしを守る情報拠点として防災・減災報道をさらに充実させます。ふだんから県民の防災意識を高める情報を発信し、災害発生時はもちろん、災害のおそれがある段階で被害が最小限になるようにテレビ、ラジオ、データ放送、インターネットなどのメディアを通じて、地域のきめ細かな情報を“ローカルファースト”で迅速に伝えます。新潟県中越地震から１５年、中越沖地震から１２年、糸魚川の大規模火災から３年となり、復興への取り組みや今も残る課題や教訓を伝えていきます。また、東日本大震災や原発事故以来、県内に暮らす２０００人以上の避難者が抱えている問題を取材し、支援につなげます。

○ 地域の課題解決・合意形成に役立つ情報を発信します

深刻化する人口減少と高齢化、農林水産業や製造業、観光産業などの地域経済の活性化、自治体の財政問題など、新潟県の課題について、平日午後６時台や金曜午後７時台の地域情報番組で深い情報や多角的な視点を伝え、視聴者とともに課題解決や合意形成の道を探っていきます。また東日本大震災以降、課題となっている柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題では新潟県の検証委員会などの動きや原子力防災の課題、地域の声を丁寧に伝えます。県民が注目する北朝鮮による拉致問題については、被害者家族の思いに寄り添いながら、若い世代にも一層関心が広がるようニュースや企画を発信し続けます。

○ 地域の魅力を再発見し、活性化に貢献します

新潟の食や自然、ものづくりや文化、人や風土の多彩な魅力を掘り起こし、県内、全国、世界に情報を発信し、インバウンドも含めて地域の活性化につなげます。県民が関心を寄せる「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の世界文化遺産登録につながる動き、「第３４回国民文化祭・にいがた２０１９」や新潟開港１５０年などの取り組みを伝え、歴史・文化の継承や質の高い地域文化の創造に貢献します。発信にあたってはソーシャルネットワーキングサービスやインターネットを活用し、現役世代のリーチ獲得を図ります。スーパーハイビジョンも活用し、超高精細の映像の力で地域の魅力を伝えます。

○ スポーツ情報で地域に“元気”を届けます

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、新潟県にゆかりのあるアスリート、事前合宿地やホストタウンの取り組みなど関連する情報を伝えます。今後の地域や共生社会のあり方を見つめ直す絶好の機会と捉えて、幅広い視点から伝えます。サッカーＪ１への再昇格を目指す「アルビレックス新潟」や高校野球、バスケットボールなど地域に根ざしたスポーツを通して、県民が明るく元気になる情報を発信します。

○ 的確な選挙報道で地域の健全な民主主義の発達に寄与します

統一地方選挙や参議院議員選挙など各種の選挙では、事前報道に一層力を入れ、地域が抱える課題や争点などを明らかにし、有権者の判断に役立つ情報をわかりやすく伝えます。選挙結果は正確・迅速に報道し、視聴者の信頼に応えます。

甲府放送局

○ 県民の命と暮らしを守るため、防災・減災報道に全力を尽くします

地震や大雨、大雪などの災害時には、速やかにＬ字型画面で情報提供を開始、テレビ・ラジオとともにデータ放送・インターネットでマルチ発信を行い、きめ細かく情報を伝えます。富士山噴火に備え、ロボットカメラ整備を加速させ、取材報道体制を強化します。また、平日午後６時台のニュース・情報番組では、気象予報士によるわかりやすい気象コーナーのさらなる充実を図るほか、ラジオ番組でも、身近に役立つ防災情報を丁寧に伝え、いざというときに頼りになる放送局を目指します。

○ 正確・迅速でわかりやすい選挙報道に取り組みます

山梨県議会議員選挙（任期満了日・２０１９年４月２９日）など４年に１度の統一地方選挙や参議院議員選挙では、地域の課題や選挙の争点など幅広い観点からわかりやすく伝え、有権者の判断のよりどころとなる報道を行い、視聴者の信頼に応えます。

○ 地域の課題に向き合い、日々の暮らしを豊かにする放送を届けます

平日午後６時台、金曜午後７時台の地域放送番組をさらに充実させ、人口減少の問題や産業の活性化など地域の課題に向き合い、解決の糸口を探ります。また、皇位継承、改元に伴い新たな節目の時代を迎える中での山梨の課題や将来像を深く掘り下げて報道します。

○ 山梨の魅力を全国や世界に発信し、地域の活性化に貢献します

全国１位の生産量を誇る桃やぶどう、世界的に注目される甲州ワインや伝統の宝飾産業、世界文化遺産に登録された富士山など、地域の魅力を掘り起こし、活性化に貢献します。武田信玄の父・信虎が甲府に館を構えて５００年の節目の年に、地域の歴史や伝統、文化に目を向け、ふるさとを見つめ直す情報を発信します。また、山梨県関連の番組の情報を、会館１階にリニューアルしたハートプラザなども活用し、地域番組で積極的に発信します。

○ 「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて機運を盛り上げます

“東京２０２０”に向け、出場を目指すアスリートを幅広く紹介するとともに、各国の事前合宿や、参加する国や地域との交流事業を担うホストタウンとなった県や市町村の取り組みなどをきめ細かく紹介します。さらに平日午後６時台のニュース・情報番組に設けた、山梨県を事前合宿地とする国のひとつであるフランスの言葉や文化を知るコーナーなどを通して機運を盛り上げます。また開催１年前の節目などにあわせて、自転車競技の会場となる山梨の観光への影響や課題を掘り下げて報道します。

○ 地域のスポーツを積極的に応援し、元気を届けます

サッカーＪ１復帰を目指す「ヴァンフォーレ甲府」、大相撲の山梨県出身の力士、それにバスケットボール女子Wリーグ「山梨クィーンビーズ」や、高校・大学スポーツなどを幅広く紹介し、地域のスポーツ振興に貢献します。

２０１９年度　近畿地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

近畿地方の６つの放送局はネットワークを生かし、地域の安全・安心に寄与します。南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、地域の防災・減災に全力で取り組みます。また、首都直下地震や、そのほかさまざまな非常事態においても放送・サービスを維持するため、本部代替機能の充実に努めます。大阪放送局からの全国向けテレビニュース発信体制を継続するほか、インターネットによる情報発信強化に努めます。

近畿地方は、世界的観光資源や歴史・文化・芸能、日本を代表する産業、スポーツイベントなど、多彩な魅力にあふれています。近畿地方の６つの放送局は、インターネットやスーパーハイビジョンも駆使して、こうした世界的にも注目される魅力を取り上げ、日本の文化の豊かさや価値観の多様性をみずみずしく発信します。さらに、マイノリティーを取り上げる番組を制作するほか、２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、トップアスリートや学生スポーツ、障害者スポーツを丁寧に伝えるなど、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる、多様性のある社会のすばらしさを伝えます。

地元の身近な放送局として、日々、公平・公正で正確な情報、暮らしに役立つ情報を、早く、わかりやすく地元の人たちに伝えます。あわせて、大きな文化・経済圏である近畿の課題や魅力を掘り下げる番組や、近畿の自然や暮らし、歴史を伝える番組を視聴好適時間帯に放送します。さらに、近畿地方向けのきめ細かい情報に、スマートフォンやパソコンからも、いつでも触れられるよう、地域情報のインターネット発信強化に努め、より愛される公共メディアになることを目指します。

≪各局の重点事項≫

大阪放送局

○ 正確・迅速な災害報道で地域を守ります

安全・安心の地域の拠点として、防災・減災情報、避難情報、ライフライン情報などの正確できめ細かい情報を放送やインターネットを駆使して迅速に伝えます。２０２０年１月に２５年となる阪神・淡路大震災や記憶に新しい大阪府北部地震の教訓を生かし、課題を検証することで、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えます。

○ 本部代替機能の充実に努めます

首都直下地震をはじめとする非常事態の際に、本部に代わって放送・サービスを維持できるよう、全国向けニュース・情報番組、一部ローカルニュースの２か国語放送を継続します。また、インターネットやデータ放送の運用・実施体制を一層充実します。

○ 公平・公正、正確・迅速な選挙報道に取り組みます

大阪府知事選挙（任期満了日・２０１９年１１月２６日）をはじめ、統一地方選挙（投票日・２０１９年4月7日、２１日）や第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年7月２８日）では、争点や地域への影響などを、丁寧にわかりやすく伝え、開票速報にも万全を期します。

○ 地域が誇る多様な魅力を全国・世界へ発信します

Ｇ２０サミットの開催で注目を集める大阪は、豊かな観光資源や奥深い歴史、伝統芸能、上方演芸、エンターテインメントなど多様な魅力にあふれています。これらの魅力をインターネットやスーパーハイビジョンも活用し、全国そして世界へ発信します。後期の連続テレビ小説では、視聴者が楽しめるさまざまなサービスを展開します。

○ 地域の“知りたい”に応え、わかりやすく伝えます

介護や育児、経済、開催が決まった２０２５年の万国博覧会など地域の視聴者の関心が高いテーマを、多角的、継続的に取材し厚く伝えます。事件・事故、また、子ども虐待やインバウンド消費など、地域が抱える課題は、問題点を掘り起こし、ともに解決策を探ります。新しい元号を迎え、明るく活気ある社会に向けて始動する関西を支えます。

○ スポーツの価値を最大化し、地域の活性化に貢献します

「ラグビーワールドカップ２０１９」や「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、関西ゆかりの選手を応援します。また、高校野球などのアマチュアスポーツのほか、地域に根ざしたプロ野球やサッカーＪ１のチームを丁寧に取り上げ、地域を盛り上げます。

○ 親しまれる放送局を目指し、存在感を高めます

若者向け番組の公開収録、ＢＫプラザやＮＨＫ大阪ホールで行われる番組と連動したイベントやインターネットサービスを通じて、地域に親しまれる放送局を目指します。

京都放送局

○ 災害報道を強化し、府民の“命”と“暮らし”を守ります

西日本では、直下型地震が相次いでいるほか、台風の直撃が急増、集中豪雨による河川の氾濫や土砂崩れの被害も年々拡大しています。激甚化する自然災害から府民の命と暮らしを守るため、ＩＰ中継、ロボットカメラ、河川水位情報、Ｌアラート情報、電子地図システムなどを駆使して災害報道を強化します。また、専従の気象予報士を起用して、よりきめ細かな気象情報を提供するとともに適時特設ニュースを放送して住民の早期避難を強く呼びかけます。さらに、特集番組やニュースのシリーズ企画、Ｌ字型画面、インターネットを通して、防災・減災に役立つさまざまな情報を提供します。

○ 地域社会の課題を深く掘り下げ、地域の発展を応援します

インバウンド需要で活況が続く観光、輸出が好調な部品産業、がんの免疫療法やｉＰＳ細胞をはじめとする最先端の医学・科学研究、「東京オリンピック・パラリンピック」に向けたスポーツ・文化の振興など、最新の社会の動きを丁寧に取材、ニュースや番組、インターネットを通して多角的に発信することで地域の発展を応援します。また、事件や事故、子どもの虐待、加速する少子高齢化、伝統産業の衰退、北部を中心に深刻化する人口流出、自然災害からの復興、隣接する福井県の原子力発電所の安全対策や避難計画など、地域が抱える課題を検証し、解決策を探っていきます。

○ 正確で公平・公正な選挙報道に万全を尽くします

京都府内では、京都市長選挙（任期満了日・２０２０年２月２４日）をはじめ、統一地方選挙、参議院議員選挙が予定されています。有権者の判断のよりどころとなる情報を正確に提供するほか、選挙の争点、地域社会への影響などについてわかりやすく解説、公平・公正な選挙報道に万全を尽くし、地域の健全な民主主義の発展に寄与します。

○ “ＫＹＯＴＯ”ブランドを全国、世界に力強く発信します

９月に文化財の保護をテーマにしたＩＣＯＭ（国際博物館会議）が開催、２０２１年には、文化庁が全面移転され、京都には、日本文化の戦略的な発信拠点としての役割が期待されています。１７の世界文化遺産、数多くの国宝や文化財、茶の湯や和食など、日本が誇る伝統文化の粋が息づく京都の魅力をスーパーハイビジョン（４Ｋ・８Ｋ）で制作した大型番組や教養番組などを通して、全国そして世界に力強く発信します。

○ 地域に愛される放送局として存在感を高めます

２２０インチの大型スーパーハイビジョンディスプレーが設置され、年間１０万人が訪れる「８Ｋプラザ」を活用した公開番組の生放送やラジオ番組と連動したイベントの開催、府内の市町村を巡る中継キャラバンなどを通して視聴者との結びつきを強め、地域に愛される放送局としての存在感を高めます。

神戸放送局

○ 阪神・淡路大震災からの復興の軌跡をたどり、震災の教訓を継承します

２０２０年１月は兵庫県南部が直下型大地震に見舞われてから２５年の節目となります。四半世紀の間、被災地は着実に復興の歩みを進め、新たな発展を遂げつつありますが、一方で震災の記憶も風化してきています。各地で大地震の発生が相次ぐ今だからこそ、今後の防災と減災に生かすため、震災の教訓を伝え続けます。

○ 兵庫県全域の防災・減災報道に尽力します

台風や豪雨などによる災害が相次ぐ中、防災・減災の報道の重要性がこれまで以上に高まっています。広い兵庫県全域をカバーするために、避難などを呼びかける中継地点や放送体制を検討し、日頃から災害への備えを整えるよう尽力します。さらに、南海トラフ巨大地震に関する情報も折に触れ伝え、防災意識の向上につなげていきます。

○ 兵庫県の日々の出来事を丁寧に伝え、多彩な魅力を発信し、課題解決にも貢献します

平日午後６時台のニュース・情報番組を刷新。“暮らして愛して兵庫県”をキャッチフレーズに、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる兵庫県の多様な出来事や話題を県内はもとより、全国、世界にも丁寧かつ積極的に発信することで視聴者の期待に応えます。人口減少、介護福祉、地元経済についてわかりやすく伝え、地域の課題解決の糸口を探ります。また、県の玄関口でもある神戸市三宮の再開発、医療産業都市の形成、神戸空港の利用促進や観光客の増加など、今後の兵庫県発展のカギを握るテーマについても詳しく伝えていきます。

○ 公平・公正、正確・迅速な選挙報道に尽力します

統一地方選挙や参議院議員選挙では、正確で迅速な報道に万全を尽くし、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝えることで、視聴者の信頼に応えます。また、地域への影響や争点についても、わかりやすく解説します。

○ 改元という節目やスポーツイベントについて地域からの情報発信を充実させます

“平成の終わり”という時代の節目に、関連する県内の動きや影響を幅広く取材、発信していきます。また、「ラグビーワールドカップ２０１９」や、「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた話題を積極的に伝え、スポーツのビッグイベントを地域から盛り上げていきます。

○ スーパーハイビジョンの番組制作と普及促進に力を入れます

神戸放送局では２０１６年度からスーパーハイビジョンの番組を積極的に制作し、地域放送局において効率的に４K・８Kの番組を制作するノウハウを蓄積してきました。始まったばかりのスーパーハイビジョン放送に向けて、引き続き新しい番組を制作していきます。また、受信公開の場を積極的に設け、スーパーハイビジョンの普及促進に努めます。

和歌山放送局

○ 南海トラフ巨大地震に備えます

命と暮らしを守り、災害からの犠牲者ゼロを目指す、“守るプロジェクト”を全局体制で展開します。平日午後６時台のニュース・情報番組の中では、防災・減災に関するニュースや情報を引き続き伝えていきます。ＦＭラジオでは県内向けの防災番組を放送し、災害時のラジオ放送を通じた地域への情報発信に備えます。自治体や防災機関、地域の人々に加え、共通の課題を抱える県外の地域とも幅広く連携して、災害に負けないまちづくりを支えます。

○ 災害への備えを進め、災害発生時の情報のマルチ発信を強化します

激しさを増す台風や局地的豪雨などの気象災害および地震への対応を一層強化します。災害発生時には、ニュースでの情報発信だけではなく、Ｌ字型画面やデータ放送、放送局のホームページ、ツイッター、さらにＦＭラジオで県内向けの放送を行うなど、情報のマルチ発信を実施し、命と暮らしを守ります。また、発生から８年がたつ紀伊半島豪雨に関するニュースや話題を引き続き伝え、土砂災害や大雨洪水に対する県民の意識を高めます。

○ 正確で公平・公正な選挙報道に取り組みます

２０１９年度は、４月の統一地方選挙、参議院議員選挙など、関心の高い選挙が実施されます。視聴者の判断のよりどころとなる情報を正確に提供するとともに、正確・迅速な開票速報に万全を期し、公平・公正で信頼される選挙報道に取り組みます。

○ 和歌山県の魅力や課題を多面的に伝え、地域の活性化に貢献します

県外への若者の流出や高齢化、過疎化への対策が喫緊の課題となっている、和歌山県の活性化に貢献することを目指します。平日午後６時台のニュース・情報番組や金曜午後７時台の地域放送番組では、県内各地の魅力や地域の抱える課題を深く掘り下げ、視聴者に発信します。また、４Ｋカメラを用いた取材・番組制作に取り組み、地域の自然や文化、史跡、伝統行事などを超高精細映像で記録し、紹介します。

○ 地域のスポーツを紹介し、応援します

「全国高等学校野球選手権大会」や「全日本サッカー選手権大会（天皇杯）」では、県の代表を決定する試合を放送し、地域のアマチュアスポーツを盛り上げます。平日午後６時台のニュース・情報番組を通じて、「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す選手をはじめとした県ゆかりの選手の活躍を幅広く紹介し、盛り上げにつなげます。また、「ねんりんピック紀の国わかやま２０１９」（開催期間・２０１９年１１月９日～１２日）では、放送を通じて大会の成功に貢献します。

奈良放送局

○ 奈良の課題と向き合い地域情報発信の強化に努めます

平日午後６時台のニュース・情報番組では、奈良の今と未来について記者解説なども加えてわかりやすく伝えます。観光などの産業振興や雇用、介護・福祉など、奈良の抱える課題と向き合い、奈良の活性化につながる情報の発信強化に努めます。視聴者の関心の高い気象情報をわかりやすく丁寧に伝えます。また、奈良県知事選挙（任期満了日・２０１９年５月２日）をはじめ、統一地方選挙や参議院議員選挙にあたっては各候補の主張や地域の課題などについて詳しく伝え、公平・公正で信頼される報道を行います。

○ 地域の安全・安心の拠点を目指します

自然災害に備えて、県内各地域の特性を踏まえた防災や減災に役立つ生活情報をテレビ・ラジオなどで発信します。各種情報カメラを駆使し、リアルタイムでよりきめ細かい情報を伝えます。地震発生や台風接近時には地域の安全・安心の拠点として、放送、Ｌ字型画面、インターネットなど多様な手段で、正確で迅速な情報提供を行います。また２０１１年の豪雨災害からの復興状況や教訓なども引き続き伝えていきます。

○ 全国に奈良の魅力を発信します

世界文化遺産や数々の国宝・重要文化財、古来より続く伝統文化、さらには知られざる貴重な自然など、国内外から注目される奈良の魅力を新たな切り口で掘り下げてニュースや番組として発信し、全国放送などを通し、古都の魅力を全国そして世界へ積極的に発信します。

○ 新しい技術を生かして奈良の魅力を伝える４Ｋ・８Ｋコンテンツを制作します

ＢＳで本放送が始まったスーパーハイビジョンに向けて、県内の豊かな自然、歴史ある建造物や文化財などを、４Ｋなどで積極的に撮影、制作する取り組みをさらに進めます。２０２０年の新会館移転を見据え、スーパーハイビジョン番組の制作に必要な映像を蓄積して、ＢＳ４Ｋ・ＢＳ８Ｋ放送への展開を目指します。

○ 地域のスポーツの発展に貢献します

「ラグビーワールドカップ２０１９」や「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、県内のアスリートや多様な競技を詳しく紹介していきます。また奈良県内で活躍するプロ・アマのチームや選手、奈良県ゆかりのスポーツ選手を番組などで積極的に取り上げ、地域のスポーツの活性化や発展に貢献します。

○ 放送とインターネット発信の連携を強化します

災害発生時の最新情報はもとより、平日午後６時台のニュース・情報番組で放送した内容やＦＭ特集の音声データ、さらには放送と連動した特設ページなど、スマートフォンやパソコンからでも、いつでも見られるよう、地域情報のインターネット発信強化に努め、より多くの方に接触してもらえる公共メディアを目指します。

大津放送局

○ 命と暮らしを守る報道で、地域の安全・安心の拠点となります

２０１８年、滋賀県は台風・豪雨・米原市の突風など数多くの自然災害に見舞われました。また、琵琶湖西岸断層帯を震源とする地震では、震度６強以上の揺れが想定されています。滋賀県民の生命と財産を守るため、緻密な取材とともにデジタルの新しい技術を活用して、正確で迅速な防災・減災報道を強化し、安全・安心の拠点としての役割を果たします。

○ 滋賀県の魅力を広く全国に発信し、地域を盛り上げます

２０１９年度も引き続き滋賀県を全力で応援します。地域ごとにさまざまな魅力を持つ滋賀県を丁寧に取材するとともに、スーパーハイビジョンの美しい映像で全国に発信します。歴史ある文化財や伝統行事、母なる湖・琵琶湖に代表される自然を４Ｋ・８Ｋで記録し、後世に伝えます。また、甲賀市が舞台となる後期の連続テレビ小説「スカーレット」や滋賀県も舞台となる２０２０年の大河ドラマ「麒麟がくる」、およびそれらに関連した番組などを通じて、地域活性化に貢献するとともに、視聴者との結びつきをさらに深めます。

○ 地域が抱える課題と正面から向き合います

人口減少、少子高齢化や景気と雇用などの全国的な課題から、琵琶湖の生態系や農林水産業の担い手の不足、介護サービス・施設の不足など地域で関心の高い課題にまで目を向け、問題提起を行います。課題に正面から向き合うニュースや番組を継続して放送し、解決につながるヒントを探ります。

○ 正確で迅速な選挙報道で視聴者の信頼に応えます

２０１９年度は春に統一地方選挙、夏に参議院議員選挙が実施されます。さらに、大津市長（任期満了日・２０２０年１月２４日）、草津市長（任期満了日・２０２０年３月２０日）などの首長選挙が予定されています。各選挙について地域の課題や争点を多角的に伝え、的確かつ公平・公正で信頼される選挙報道に取り組みます。

○ 地域のスポーツを応援し、地域を盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される地元のスポーツ選手や学生アスリートの活躍や動きを紹介し、応援します。また、バスケットボールＢリーグの「滋賀レイクスターズ」など関心の高いプロスポーツだけでなく、アマチュアスポーツや障害者スポーツもニュース・情報番組で積極的に取り上げ、地域のスポーツ振興に貢献します。

２０１９年度　中部地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

中部地方の７つの放送局は、ネットワークを生かして地域の放送・サービスをより一層強化し、多様な関心やニーズに応え、幅広い世代から親しまれる放送局を目指します。５月１日の改元や“東京２０２０”に向け、社会や人々のライフスタイルが大きく変わろうとする中で、これまで以上に視聴者に向き合い、地域の変化や課題をともに考えていきます。

経験したことのない巨大台風や記録的な猛暑・大雨などの異常気象、各地で頻発する地震など、中部地方でも多くの自然災害に見舞われています。さらに、南海トラフ巨大地震では甚大な被害も想定されています。日頃から防災・減災につながる情報を、インターネットなど多様なメディアも最大限に活用し迅速に届け、命と暮らしを守る報道に全力で取り組みます。

「ラグビーワールドカップ２０１９」の開催や、「東京オリンピック・パラリンピック」が目前に迫るなど、さまざまなスポーツの機運がさらに高まります。またとないこの機に、中部地方ゆかりのアスリートたちの活躍や競技の魅力を存分に伝え、地域と一体となり盛り上げていきます。

１０月に予定されている消費税率の１０％への引き上げが暮らしと地域経済に与える影響や、加速する地方の人口減少など地域の抱える課題を、多角的な取材で的確に伝えていきます。またスーパーハイビジョン（４K・８K）番組をはじめ、中部地方の多彩な魅力を描く質の高い番組の制作に取り組み、地域のみならず全国、世界へ発信します。

４月の統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）や夏の第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）では、争点など有権者の判断のよりどころとなる情報を、丁寧にわかりやすく伝え、公平・公正で正確な選挙報道に万全を期します。

≪各局の重点事項≫

名古屋放送局

○ 人々の命と暮らしを守る情報の発信に全力で取り組みます

巨大台風や記録的な大雨、連日の猛暑など、愛知県も自然の脅威に数多くさらされています。東海地方で甚大な被害が想定されている南海トラフ巨大地震への備えも不可欠です。日頃から防災・減災報道に努め、国や自治体、中部地方の各放送局と連携を図り、いざというときに備えた体制を強化します。そして、災害発生時にはテレビ、ラジオ、インターネットそれぞれのメディアの特性を生かして、地域に密着した情報を正確・迅速に届けます。

○ 地域と一体となりスポーツを盛り上げます

「ラグビーワールドカップ２０１９」が愛知県でも開催され、目前に迫る「東京オリンピック・パラリンピック」では代表選手の選考が進み、プレ大会も行われます。視聴者の高まるスポーツ熱に応え、地元ゆかりのアスリートの活躍や東京大会に向けた地域の取り組みなどを余すところなく伝えます。また、東海地方出身の選手が入団し注目が集まるプロ野球「中日ドラゴンズ」や、サッカーＪ１で上位を狙う「名古屋グランパス」など、プロ、アマチュアを問わず地域のスポーツを応援します。

○ 地域の課題に向き合い、より身近にわかりやすく伝えます

リニア中央新幹線開業を見据えた再開発や、中部国際空港の新ターミナルや愛知県国際展示場の開業など、地域経済の活性化や観光振興が期待されます。一方で、人手不足や少子高齢化、日米貿易摩擦による影響などの課題も浮き彫りになっています。平日午後６時台のニュース・情報番組や金曜午後７・８時台の地域放送番組を軸に、東海地方のさまざまな動きをタイムリーに捉え、より身近にわかりやすく伝えます。

○ 多彩な番組を通して、地域の魅力を全国・世界へ発信します

地域に根ざし、時代に即したドラマやエンターテインメント番組など、名古屋放送局の制作力を生かしたさまざまなジャンルの番組に取り組み、特に若い世代に向け積極的にアプローチを図ります。また、中部地方が誇る豊かな自然やものづくりの力、東海地方に受け継がれてきた独自の文化、歴史など、地域の多彩な魅力を取り上げる質の高い番組を、スーパーハイビジョンへの展開も図りながら、全国や世界に向けて広く発信します。

○ 選挙報道に万全を期します

統一地方選挙や参議院議員選挙では、有権者の判断のよりどころとなる選挙の争点をわかりやすく伝え、公平・公正な報道に取り組みます。

金沢放送局

○ 新会館の特色を生かし、地域サービスの拡充を図ります

新会館ではＩＰ技術の活用など最新の放送設備が導入され、取材・制作機能が向上したことを生かし、日々のニュース・情報番組の内容をより充実させていきます。また、金曜午後７時台の地域放送番組については県域枠を増やすとともに、北陸地方向けの番組枠も継続します。あわせて、歴史や伝統工芸、食文化など、石川県の魅力を全国や世界に向けても発信していくほか、ハートプラザに常設された２２０インチの８Ｋモニターを活用し、スーパーハイビジョンの普及促進や視聴者サービスにもつながる公開イベントを開催します。

○ 人々の命と暮らしを守る防災・減災報道に努めます

猛烈な勢力の巨大台風や集中豪雨、地震が各地で頻繁に発生し、石川県でも災害への備えが求められています。また、過疎化が進む能登地方では大雪の際、無人家屋での水道管破裂が相次ぎ、断水が広範囲に発生するなど、地域特有の課題も浮き彫りになっています。大地震や落雷などへの災害対策を強化した金沢局では、県民の命と暮らしを守ることを最優先に、日頃からテレビ・ラジオで防災・減災につなげる報道に取り組みます。さらに、実際の災害対応ではＬ字型画面での情報発信をベースに、インターネットやデータ放送も活用した情報提供も行っていきます。

○ 石川県の“いま”に鋭く迫り、わかりやすく伝えます

北陸新幹線の開業後、金沢市には国内だけでなく海外からも多くの観光客が訪れ、ホテルの建設ラッシュが続き、加賀地方では新幹線延伸による経済効果への期待が高まっています。好景気が続き、明るい話題もある一方で、人手不足による経済への悪影響が懸念されています。また、能登地方では人口減少に伴う地域間格差の拡大が課題となっています。さらに、能登半島沖の漁場である「大和堆」では、依然として近隣諸国による違法操業が多発しています。このほか、１０月に行われる消費税の引き上げが県民に与える影響など、県内各地のさまざまな問題や課題を多角的に伝えていきます。

○ 地域で活躍するアスリートを紹介し、応援していきます

２０２０年「東京オリンピック・パラリンピック」の開催に向けて、県内で注目される選手や競技にスポットを当てるとともに、代表選手選考の動きや話題など、東京大会に関連した情報を幅広く紹介していきます。また、県民の関心が高い大相撲の郷土出身力士の情報も詳しく紹介するほか、サッカーＪ２「ツエーゲン金沢」など、地元のプロスポーツの試合結果を紹介し、地域のスポーツ振興に寄与します。

○ 選挙報道に向け、万全の態勢で臨みます

２０１９年度に予定されている統一地方選挙や参議院議員選挙では、有権者の判断のよりどころとなる情報の提供に努め、公平・公正、正確・迅速な報道に尽力します。

静岡放送局

○ 防災・減災報道をさらに強化し、地域の安全・安心を守ります

近い将来、発生が懸念される南海トラフ巨大地震や、富士山噴火などの大規模災害に備えた緊急報道の体制強化を一層進めます。特に南海トラフ巨大地震については、東海地震の予知を想定していた国の対応の見直し、それを受けた行政や地域の人たちの取り組みや課題などをニュースや番組で伝えていきます。災害発生時・緊急時には、県民が必要とする情報をテレビやラジオをはじめ、デジタルの伝送路を活用して伝えるとともに、県民への避難の呼びかけなどをより迅速に、よりきめ細かく行う体制の整備やスキル向上に日々努めていきます。さらに、近年頻発する台風や大雨などの災害については、事前の備えや避難の呼びかけを行う放送にも力を入れ、防災・減災報道を強化することによって、地域の安全・安心を守ります。

○ 地域情報番組を強化することで全国・海外発信を進め、地域活性化に貢献します

平日午後６時台のニュース・情報番組では、行政や事件の報道に加え、地域の話題を幅広く伝えます。また、１０月に予定される消費税率引き上げをはじめ、医療や健康など生活に身近なテーマを深く掘り下げ、県民の暮らしに役立つ情報を届けます。金曜午後７時台の地域放送番組では、東西に広く地域色豊かな静岡県の自然や歴史、暮らしや文化など多彩なテーマを取り上げ、幅広い関心に応え視聴者とのつながりを強めます。こうしたニュースや番組の全国発信はもちろん、国際放送局と連携し海外発信を強化するとともにスーパーハイビジョンによる制作も積極的に進め、新たな時代にふさわしい放送サービスに取り組みます。

○ 公平・公正かつ正確・迅速な選挙報道を行います

４月の統一地方選挙では、静岡市、浜松市の二つの政令指定都市を含む首長選挙や県議会議員選挙（任期満了日・２０１９年４月２９日）が、また、夏には参議院議員選挙が行われます。万全の態勢で臨み、選挙情勢や争点、地域の課題などを公平・公正かつ正確・迅速に伝え、判断のよりどころとなる情報をわかりやすく届けます。

○ 静岡県内でも開催される大型スポーツイベントに向け地元選手と地域を応援します

静岡県で４試合が予定されている「ラグビーワールドカップ２０１９」、そして、自転車競技が開催される２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」には、静岡県にゆかりのある選手も活躍が期待されます。こうした選手と地域とのつながりなどを継続してお伝えし、選手と地域を応援するとともに、大型イベントに関わる地域の人たちの取り組みや課題を積極的に取り上げます。

福井放送局

○ 福井発の放送をさらに強化して地域貢献に努めます

平日午後６時台のニュース・情報番組と金曜午後７時台の番組の両輪で、福井県の視聴者に向けた放送をさらに強化します。人口減少や地域経済など県民の関心が高い課題に正面から向き合うニュースから、地域の魅力をたっぷり体感できる紀行や話題まで、地域のニーズを探りながら、ＮＨＫならではの多彩な内容を放送し、より身近な地域放送局になることを目指します。また、２０２２年度末までの開業を目指す北陸新幹線（金沢―敦賀間）など、つながりが強い北陸地域の情報も積極的に取り上げます。

○ 国内最多の原子力発電所に関する課題や動きを詳しく伝えます

廃炉が決まった施設も含め、国内最多の原子力発電所が立地する福井県。再稼働している高浜原子力発電所と大飯原子力発電所、廃炉に向けて作業が進む「もんじゅ」、さらに再稼働に向けて地元の同意が焦点の美浜原子力発電所など、国のエネルギー政策を反映する施設に引き続き注目が集まっています。特に原子力発電所の同時発災に備えた国・県の課題や動きについて、地域の放送局としてきめ細かく取材するとともに、最新の情報をわかりやすく伝えます。

○ 地域の安全・安心を守るため災害・緊急報道に全力を尽くします

巨大台風や記録的な大雪、猛暑などの異常気象、各地で頻発する地震など、自然災害に遭遇する可能性が高まっています。県民の安全・安心を守るため、県内のロボットカメラやＩＰ中継などを駆使した迅速な情報伝達に努めます。また、スーパーハイビジョンやバーチャルリアリティー（仮想現実）なども災害報道に積極的に利用し、防災・減災に貢献します。さらに、テレビ放送やＬ字型画面だけでなく、災害時に役立つラジオ放送やデータ放送、インターネットなども活用しながら緊急報道に取り組みます。

○ “福井発地域ドラマ”を発信、“幸福度ナンバーワン”キャンペーンを展開します

福井放送局のテレビ放送開始６０年にあわせて、福井を舞台にしたドラマを制作、全国に発信するほか、“幸福度ナンバーワン”をテーマにキャンペーンを展開します。民間の調査会社による都道府県幸福度ランキングが３回連続１位の福井県。一方で、“幸福度１位”を実感していない県民も多いとされています。そこで、産業、観光、教育などあらゆる角度から幸福度を切り口にして“福井の今の姿”を浮き彫りにし、福井の魅力を再発見していきます。

○ 統一地方選挙や参議院議員選挙をわかりやすく伝えます

４月の統一地方選挙で行われる福井県知事選挙（任期満了日・２０１９年４月２２日）のほか、参議院議員選挙、福井市長選挙（任期満了日・２０１９年１２月２２日）など、相次いで行われる選挙について、候補者の主張や争点など、有権者の判断のよりどころとなる情報を丁寧にわかりやすく伝え、公平・公正で正確な選挙報道に万全を期します。

富山放送局

○ 地域番組をより一層充実させ、視聴者の期待に応えます

平日午後６時台のニュース・情報番組や毎週金曜午後５時台のラジオ番組では、視聴者からさらに親しみやすく、信頼される番組を目指します。深刻化する人手不足の問題や富山が誇る“ものづくり”の最新の動きなど、視聴者の関心に的確に応え、地域の活性化に寄与する放送・サービスを追求します。金曜午後７時台では、富山に関する番組を積極的に放送し、視聴者へ地域の新たな魅力や情報を届けます。

○ “多様性”を見つめるキャンペーンを引き続き展開します

２０１９年度も引き続き、“多様性”を見つめるキャンペーンを展開します。番組やイベントを通じて、誰もが輝ける社会を実現するための取り組みや課題に真摯（しんし）に向き合います。これまでの取り組みの集大成として、番組、イベント、ホームページを有機的・効果的に連動させ、異なる意見や価値観を認め、支え合うことが大切であることを発信していきます。

○ 公平・公正な選挙報道に万全を期します

４月の統一地方選挙や夏の参議院議員選挙の報道にあたっては、選挙の争点や地域が抱える課題などをわかりやすく伝え、公平・公正な報道を行います。

○ 防災・減災報道に努め、地域の安全・安心の拠点となります

呉羽山断層帯地震や台風・豪雨などさまざまな災害に備え、防災・減災のための情報発信の強化に引き続き努めます。災害発生時にはテレビやラジオ、Ｌ字型画面、データ放送、インターネットなど、あらゆるメディアを駆使した正確かつ迅速な緊急報道をマルチ発信し、県民の安全・安心の拠点としての責任を果たします。

○ 地域のスポーツを積極的に取り上げ、応援します

「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される県内ゆかりの選手を継続的に取材し、日々のニュースや番組などで積極的に取り上げてその活躍を応援します。また、大相撲やバスケットボール、サッカー、野球、バレーボールなど、県内のさまざまなスポーツ活動を幅広く取材し、地域とともに盛り上げていきます。

○ ４Ｋ・８Ｋ放送により、富山の魅力を発信します

ＢＳ４Ｋ・ＢＳ８Ｋの普及を図るため、県内の美しい自然や貴重な文化遺産を撮影・記録するプロジェクト「富山の宝」を継続します。スーパーハイビジョン（４Ｋ）撮影による番組制作に力を入れ、富山の魅力を発信します。

津放送局

○ 災害報道に全力で取り組みます

毎年のように起きる台風や記録的豪雨による被害。加えて今後３０年以内の発生確率が、“７０％～８０％”と切迫している南海トラフ巨大地震。自然災害に対する危機感がこれまで以上に高まる中、放送とインターネットを使い分けながら、防災・減災に役立つ情報の提供に努めるとともに、県民が“我がこと”と受け止められるような災害報道を目指します。さらに南海トラフ巨大地震による大津波警報発表時には、放送会館から放送が出せなくなるという想定で、いち早く報道拠点（津波サテライト）に移動し、被災地から情報を確実に伝えられるよう訓練を継続します。

○ 地域放送の充実に努めます

津局の地域放送の柱は、県内向けの放送と東海３県に向けて三重県の情報を積極的に発信することです。三重県をはじめ、東海３県の視聴者の関心やニーズを捉えた放送を追求するとともに、地理的に隣接し、視聴者の関心の高い近畿地方の情報も適宜伝えていきます。

○ 時代を捉えた地域のニュースや番組を制作します

地域の産業が抱える課題や少子高齢化を巡る問題、時代の“旬”を捉えた話題など、地域の人たちと向き合いながら、幅広い世代の期待と多彩な関心に応えるニュースや番組づくりに取り組みます。

○ 選挙報道に万全を期します

三重県知事選挙（任期満了日・２０１９年４月２０日）や県庁所在地の津市長選挙（任期満了日・２０１９年４月２５日）などが行われる４月の統一地方選挙や、この夏の参議院議員選挙では、公正、正確・迅速な選挙報道に努め、視聴者の信頼に応えます。

○ 地域のスポーツやアスリートを応援します

三重県には、ラグビー、サッカー、ハンドボールなど各リーグに所属する地域に根ざしたクラブチームがあります。また、開催が目前に迫る「東京オリンピック・パラリンピック」、そして２０２１年に三重県で開かれる「三重とこわか国体」に向けて練習に励む、注目される若きアスリートたちがいます。こうした地域のスポーツチームやアスリートたちを取り上げ、ニュースや競技の中継を通してサポートします。

○ スーパーハイビジョンを生かして三重の魅力を全国・世界に発信します

海と山が織り成す三重県の貴重な自然や、古代から息づく伝統文化など、スーパーハイビジョンを積極的に生かし、全国・世界に発信することで地域の映像文化の発展に貢献します。

岐阜放送局

○ 災害・緊急報道に備え体制を万全にし、地域の安全に寄与します

岐阜県は、豪雨災害のリスクが高く、「平成３０年７月豪雨」では、岐阜県にも大雨特別警報が発令され、関市の津保川が氾濫するといった事態が発生しました。また、大規模な活断層も多く内陸直下型地震による甚大な被害も懸念されており、さらに、台風などが発生すると木曽三川からの水害につながるリスクも抱えています。そのため、日頃から地域住民に役立つ防災・減災の情報を、データ放送やインターネットを活用して継続的に発信し、地域の安全・安心に貢献します。

○ 多彩な取り組みで地域を盛り上げ、岐阜の魅力や話題を多角的に発信していきます

岐阜県を舞台とする２０２０年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に向け、積極的な広報活動を展開するとともに、自然や伝統・文化などについて、スーパーハイビジョン（４Ｋ・８Ｋ）による番組制作を推進します。また、２０１８年にリニューアルした平日午後６時台の県域ニュース・情報番組のさらなる内容充実も図っていきます。

○ 選挙報道に万全を期します

４月の統一地方選挙や夏の参議院議員選挙にあたっては、有権者の判断のよりどころとなる選挙の争点や課題などの情報を公平・公正な立場から多角的に伝えます。開票速報など選挙報道の実施には万全を期し、公共放送の使命を果たします。

○ 地域のさまざまなスポーツを応援します

２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、岐阜県ゆかりのアスリートたちの活躍や競技の魅力を存分に伝えます。また、２０２０年４月には岐阜県に聖火リレーもやってきます。それらの取り組みを、きめ細かい取材や番組などでの発信を通じて、地域と一体となって盛り上げていきます。そして、女子ソフトボールチーム「大垣ミナモ」や、サッカーＪ１昇格を目指すＪ２の「ＦＣ岐阜」をはじめ、高校野球などのアマチュアスポーツも幅広く取り上げ、岐阜のスポーツのさらなる活性化に寄与します。

２０１９年度　中国地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

中国地方の５つの放送局は、地域の安全・安心の拠点として、人々の命と暮らしを守る情報を正確・迅速に提供します。２０１８年７月に発生した西日本豪雨災害は、広島県と岡山県を中心に甚大な被害をもたらし、災害時の備えについて多くの教訓を残しました。この教訓を生かし、台風、豪雨、地震など激甚化する自然災害に対し、公共メディアとしてあらゆる手段を駆使し、防災や減災につながる情報発信に日頃から尽力します。また、統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）、第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）をはじめとする各種選挙報道に万全を期し、有権者の判断に有用な情報を提供します。

被爆者の高齢化は年々進み、その数も減っていく中、被爆体験の記録や次世代への継承は日に日に重要性を増しています。被爆７４年となる２０１９年は、節目の７５年に向けて、核兵器廃絶と平和への祈りをさまざまな手法を用いて全国、世界へと発信していきます。また、岩国基地などの安全保障・平和維持の課題に向き合い、多角的に伝えます。

中国地方の各県が抱える人口減少や地域経済の活性化などの共通課題には、これまでどおり中国地方向けの放送で取り組みます。県域放送サービスでは、山陽地方と山陰地方で異なる魅力的な文化や風土を育んできたことを踏まえ、各地の課題に徹底的に向き合い、解決の糸口を探るほか、豊かな自然や地域の話題も丁寧に伝えます。地域の公共メディアの担い手として、デジタルツールを活用しながら、視聴者とともに未来をつくる放送局を目指します。

２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、中国地方ゆかりのアスリートの活躍を伝えるほか、障害や多様な価値観を認め合う共生社会の実現を後押しします。さらに、プロ野球「広島カープ」をはじめ、サッカーＪリーグやバスケットボールＢリーグなど、各地で盛り上がりを見せるプロスポーツの情報をきめ細かく伝え、地域の視聴者の高い関心に応えます。

新時代の放送サービスとして開始したスーパーハイビジョン（４K・８K）の制作を引き続き進めます。また、広島放送局の８Kスーパーハイビジョンシアターを発信拠点として、中国地方の次世代放送の普及・発展に貢献します。

≪各局の重点事項≫

広島放送局

○公共メディア時代を見据え、視聴者とともに地域の未来をつくります

人口減少など中国地方各県が共通して抱える課題やそれぞれの風土が育んだ魅力的な文化や自然を、域内５局の中心となって積極的に中国地方や全国に発信します。また、地域のニーズに応じた情報は県域放送で展開するなど、全国、中国地方向け、県域の各放送をバランスよく提供し、笑顔あふれる地域の未来を視聴者とともにつくります。

○西日本豪雨災害を教訓に、地域の防災・減災に努め、生命・財産を守ります

甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害の教訓を生かし、激甚化する自然災害から生命・財産を守るため、早め早めの警戒を呼びかけ、迅速な報道に尽力します。住民の生活を守るための情報提供にも一層力を入れ、データ放送やインターネットなども活用し、地域の安全・安心の拠点としての使命を果たします。被災地の復興へ向けた動きは、引き続き丁寧に取材しきめ細かく伝えます。

○節目の被爆７５年に向け、被爆体験の記録と次世代への継承を進めます

年々被爆者の数は減り、被爆の事実の風化が進むことに対して、危機感が非常に強まっています。被爆７５年の節目の前年となる２０１９年は、被爆地の放送局としていま一度原点に立ち返り、一つでも多くの真実を掘り起こすことに努めます。そして、引き続きアニメや音楽番組など若い世代の関心を引く演出の番組をはじめ、デジタルサービスも活用しながら、世代間の垣根を乗り越え、被爆体験の記録と次世代への継承に尽力します。

○選挙報道に万全の態勢で臨みます

参議院議員選挙をはじめ、広島市長選挙（投票日・２０１９年４月７日）を含む統一地方選挙などの各種選挙報道に万全の態勢で臨みます。

○「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、スポーツで地域を盛り上げます

２０２０年の東京大会に向けて、広島県や中国地方ゆかりのアスリートの活躍を積極的に取り上げるほか、障害者と健常者の共生のあり方など幅広い視点で見つめます。リーグ３連覇を達成し、悲願である３５年ぶりの日本一を目指すプロ野球「広島カープ」や、サッカーＪ１の「サンフレッチェ広島」など、県民の関心が高いスポーツについては、継続して中継やニュースで放送し、地域を元気にします。

○ＢＳ４Ｋ・ＢＳ８Ｋの魅力を継続して伝えます

超高精細映像のＢＳ４Ｋ・ＢＳ８Ｋを通して、魅力あふれる広島県・中国地方の風景や人々の姿を発信します。また、広島放送局にオープンした８Ｋスーパーハイビジョンシアターを拠点として、普及活動に尽力します。

岡山放送局

○ 防災・減災報道に全力で取り組みます

甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害の経験を生かし、テレビ、ラジオ、データ放送やインターネットなどで、防災・減災につながる情報を日頃から積極的に提供します。緊急報道の際には、ＩＰ中継などの技術や機材を駆使して、判断のよりどころとなる情報を正確・迅速に届け、公共放送の使命を果たします。

○ 地域の課題に向き合い、地域に寄り添い親しまれる放送局を目指します

岡山県の魅力や課題を丁寧に掘り起こし、県域サービスの強化に努めます。金曜午後７時台の地域放送番組や平日午後６時台のニュース・情報番組では、災害復興の課題や超高齢社会など、地域が抱える課題や暮らしに直結した話題を掘り下げ、課題解決の糸口を探ります。また、県民の関心が高いテーマを取り上げるなど、番組内容の充実に努め、ＮＨＫの存在感を高めます。

○ スポーツで地域を盛り上げます

２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて岡山県ゆかりの選手の動きを詳しく取り上げます。また、サッカーＪ２「ファジアーノ岡山」、女子バレーボールＶリーグ「岡山シーガルズ」、新たに発足した卓球Ｔリーグ「岡山リベッツ」の試合の模様や、「おかやまマラソン」の情報を積極的に伝え、スポーツの話題で地域を活性化します。

○ 正確・迅速な選挙報道に尽力します

４月の統一地方選挙、参議院議員選挙をはじめとする各種選挙報道に万全を期し、有権者の判断に有用な情報を、正確・迅速に提供します。

○ 岡山ならではのスーパーハイビジョンコンテンツの制作に取り組みます

これまで積み重ねてきたスーパーハイビジョンの制作ノウハウを生かして、県内各地の四季折々の情景や伝統・文化を超高精細映像で記録し、放送やイベントなどで発信することで、視聴者の関心に応えます。

松江放送局

○ 命と暮らしを守る情報を、きめ細かく迅速に伝えます

台風、豪雨、地震など全国で激甚化する自然災害に備え、日頃から防災・減災につながる放送に力を入れます。災害時にはいち早く態勢を構築し、ニュースをはじめＬ字型画面やデータ放送、インターネットなどを駆使し、公共メディアとして地域の人々の命と暮らしを守るため、正確で迅速な報道、きめ細かい情報発信に努めます。

○ 島根原子力発電所を巡る動きや地域の安全対策を詳しく伝えます

全国で唯一県庁所在地にある松江市の島根原子力発電所を巡るさまざまな動きをつぶさに取材・検証するとともに、自治体の避難計画など安全への取り組みや課題をわかりやすく伝えます。地域の安全・安心を守るため、緊急時にも放送を継続するための機能強化に引き続き取り組みます。

○ 地域の課題と向き合い、地域の魅力を広く発信します

深刻な人口減少をはじめ、経済、教育、医療など地域の重要な課題を掘り下げ、解決につながる取り組みを丁寧に取材することで、地域活性化に資する情報発信に努めます。また豊かな自然に恵まれ、独自の歴史や文化を育んできた島根の多彩な魅力を、全国・世界に広く発信します。１０年ぶりに開催される松江市の伝統行事で日本最大級の船神事「ホーランエンヤ」など、スーパーハイビジョンによる放送やデジタルツールを活用しながら地域を盛り上げ、あらゆる世代に向けて島根のよさを伝えていきます。

○ 正確・迅速でわかりやすい選挙報道に万全を期します

島根県知事選挙（投票日・２０１９年４月７日）を含む統一地方選挙や、島根・鳥取両県で２度目の“合区”となる参議院議員選挙などの選挙報道に万全の態勢で取り組みます。

○ 地域の生きた情報を的確に伝え、地域を応援します

平日午後６時台のニュース・情報番組では、その日の県内の動きや、視聴者が知りたい話題を掘り下げて伝えるとともに、鮮度の高い情報を中継などで生き生きと紹介します。また、金曜午後７時台の地域放送番組の充実にも努め、島根県の課題や魅力のみならず、地域的につながりが強い鳥取県についても鳥取放送局と連携して両県に発信します。スポーツについては、２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に挑戦する島根県ゆかりの選手の動向や、大相撲、テニス、バスケットボールＢリーグ「島根スサノオマジック」など、地元選手やチームの活躍を詳しく伝え、地域を応援します。

鳥取放送局

○ 地域の課題を掘り下げ、地域活性化に貢献する情報を発信します

視聴者目線を大切にし、平日午後６時台のニュース・情報番組のさらなる充実を図ります。人口減少や高齢化、経済活性化に向けた取り組みなど地域の現状を丁寧に取材し、課題解決の糸口を探ります。中国地方最高峰の大山や日本海などの豊かな自然、歴史や伝統文化、各種スポーツなど県民が関心を寄せる話題を発信し、視聴者がふるさとに誇りや自信を持てる内容を届けます。また、視聴者とともにつくる番組を目指し、データ放送による双方向サービスや寄せられた投稿の積極的活用、視聴者参加企画の充実に努めます。

○ 県民の安全・安心につながる情報を発信します

地域の暮らしを守る防災・減災に役立つ情報を発信し、視聴者のニーズに応えます。２０００年に県西部で、２０１６年に県中部で起きた地震や、西日本豪雨災害など、自然災害は大きな教訓を残してきました。地震・豪雨・豪雪などの災害に備え、日頃から訓練を重ね、県民の知りたい情報を的確に発信できる体制を強化します。また、島根原子力発電所の安全性や事故対応、行政が策定した避難計画や訓練なども継続的に検証し、緊急時に備えた報道体制を構築します。

○ 地域の特性を踏まえた番組の拡充に努めます

地元を取り上げた多彩な番組を放送し、金曜午後７時台の地域放送番組を充実させます。地域間のつながりが強い島根県の課題や魅力についても、松江放送局と連携して両県に向けて発信します。平日午後６時台のニュース・情報番組との連動を図り、タイムリーな話題やシリーズ企画をまとめてわかりやすく伝えます。

○ 正確で迅速な選挙報道に万全を期します

鳥取県知事選挙（投票日・２０１９年４月７日）を含む統一地方選挙や、鳥取・島根両県で２度目の“合区”となる参議院議員選挙では、有権者のよりどころとなる情報を丁寧にわかりやすく伝え、公平・公正で正確な選挙報道に取り組みます。

○ “東京２０２０”に向けた多様なチャレンジを積極的に取り上げます

スポーツ・文化などさまざまな分野において、未来に向けて挑戦する姿や社会の変革に向けて貢献する姿を発信します。特にスポーツでは、「東京オリンピック・パラリンピック」に挑戦する鳥取県ゆかりの選手たちを幅広く取り上げ、地域を盛り上げます。また、パラリンピックだけでなく、障害のある人たちのさまざまな分野での活動についても積極的に伝え、障害のある人もない人も、ともに暮らす社会に向けて、課題解決につながるヒントを提示します。そして、多様な価値観を認め合う社会の構築に貢献します。

山口放送局

○ 安全・安心を確保する情報を全力で届け、地域を守ります

大地震や津波、台風などの自然災害から地域の人たちの命と暮らしを守るため、日頃から防災・減災報道に総力を挙げて取り組みます。西日本豪雨災害を教訓に、災害の危険が予想されるときには、テレビ、ラジオ、データ放送、インターネットなどあらゆる手段を活用し、正確な情報をより早く丁寧に伝えます。

○ 県域放送をさらに充実させ、地域を元気にします

山口県内の豊かな自然や文化、地域活性化の新たな取り組みなど地域を元気にするさまざまなテーマの番組を多彩な演出で制作し、より幅広い視聴者の期待に応えます。金曜午後７時台の地域放送番組を中心に、県域放送をさらに充実させ、地域の人たちに親しまれ、信頼される放送局を目指します。

○ 若者流出など地域の課題に向き合い、未来をともに考えます

政府が萩市を候補地としている「イージス・アショア」配備計画に対する地元の動きや、東アジア最大規模の米軍基地となった岩国基地の騒音や安全の問題、上関原子力発電所の建設計画、さらに若者の県外流出や人口減少、地域経済の振興など、地域の課題に向き合い、より深く取材してわかりやすく伝え、地域の未来をともに考えます。また、４月の統一地方選挙、参議院議員選挙などの選挙報道に万全を期し、正確かつ迅速な報道で視聴者の期待に応えます。

○ 地域の魅力を全国・世界に発信します

日本海と瀬戸内海に面する豊かな自然や伝統文化など、郷土の魅力を全国・世界に発信します。また、スーパーハイビジョン番組の制作とノウハウの蓄積を進め、新たな情報発信の可能性を探ります。

○ “東京２０２０”に向け、スポーツで地域を盛り上げます

サッカーＪ１昇格を目指すＪ２「レノファ山口」や高校野球など、地元で関心の高いスポーツを、中継やニュース、番組で詳しく伝え、地域に元気を届けます。また日本で開催される「ラグビーワールドカップ２０１９」に向けた県内の取り組みを伝えるほか、「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、郷土ゆかりの選手やホストタウンの国際交流活動などを紹介し、地域を盛り上げます。

２０１９年度　九州沖縄地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

九州沖縄の各放送局は、９局のネットワークを生かし、正確で有用な情報を的確・迅速に提供します。質の高い放送と多様な手段による情報発信で視聴者からの期待に応え、信頼される放送局を目指します。

住民の生命と暮らしを守るため、ふだんから防災・減災につながる情報を継続的に発信し、災害発生時には機動的な態勢で正確な情報を伝えます。また、大規模災害の被災地を継続取材して、現状の課題に向き合うとともに、解決に向けたヒントを探り、復興を支援します。

４月の統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）や夏の第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）など、各種選挙には万全の態勢で臨み、正確・迅速かつ公平・公正な情報を発信し、有権者の判断に資する情報を提供します。

５月の改元に向けた動きや原子力発電所・米軍基地の問題、高齢化といった九州沖縄共通の課題や、地域・歴史的につながりの深いアジアに関わる情報などを九州沖縄地方向けに伝えます。また、県域向けにはより地域に密着した情報を届け、地域情報の一層の充実を図ります。

地元の魅力をテーマにした若い世代向けの番組や家族で楽しめる番組、大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」の放送に合わせた地元ならではの番組を放送し、幅広い世代の接触率向上を図ります。

九州でも開催される「ラグビーワールドカップ２０１９」や、２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、地元出身選手や競技に関する情報を発信します。また、プロ野球「福岡ソフトバンクホークス」やサッカーなど地元スポーツチームの試合中継や最新の動向を伝え、地域を盛り上げていきます。

九州沖縄の多様な魅力を発信するため、スーパーハイビジョンの超高精細映像を生かした番組の制作や、効果的なインターネットサービス、データ放送サービスに取り組みます。

≪各局の重点事項≫

福岡放送局

○ 地域の安全・安心を守ります

福岡県をはじめ、九州沖縄の安全・安心を守ります。日頃から防災・減災につながる情報の提供を心がけるとともに、災害発生時には正確・迅速な緊急報道に取り組み、被災者が必要とするライフライン情報も的確に伝えます。ラジオ第１の平日午後５時台に九州沖縄で放送している防災・減災に関連した番組を通して、域内各放送局のネットワーク強化を図ります。さらに、デジタルの伝送路を活用し必要な情報を多方面に伝えます。

○ 公平・公正かつ正確な選挙報道に万全の態勢で取り組みます

福岡県知事選挙（任期満了日・２０１９年４月２２日）を含む４月の統一地方選挙や夏の参議院議員選挙では、選挙の争点など有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝えます。また、正確かつ迅速な報道で、地域の関心に応えます。

○ 地域の魅力や課題に迫り、視聴者の興味・関心に応えます

北部九州エリアの広域的な情報発信の強化に取り組みます。平日午後６時台のニュース・情報番組では、北九州放送局との連携を強化し、福岡県内のその日の動きを詳しく伝え、地域の課題を深く掘り下げます。金曜午後７時台では北部九州の視聴者に向けて、地域に密着した話題や情報を伝えます。また、人口減少や地域経済など九州沖縄に共通する課題や、戦争と平和、改元などの重要なテーマに深く切り込み、九州沖縄の広域に向けて発信していきます。

○ 地域の多彩な魅力を届けます

地域の豊かな自然や人々のつながりを描く地域ドラマ、地元を意識したエンターテインメント番組など、幅広い世代が楽しめる番組を制作します。「博多祇園山笠」など伝統文化の継承に貢献する番組に引き続き取り組むほか、大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」の盛り上げに努め、地域の活性化に貢献します。また、スーパーハイビジョンの超高精細映像で九州沖縄の魅力を捉えた番組制作を進めます。

○ 地域とアジアの関係を見つめ、地域の未来を探ります

アジアと歴史・文化・経済的につながりの深い地域ならではの視点で、アジアと九州沖縄の関係を多角的に見つめ、国際交流の現状や課題の最新動向を伝えます。また、国際放送を通じて、アジアと九州沖縄の関わりについて、世界に向けて発信していきます。

○ 地域のスポーツを応援します

「ラグビーワールドカップ２０１９」や「東京オリンピック・パラリンピック」に関わる地元選手や競技の関連情報を伝え、視聴者の関心を高めます。また、プロ野球「福岡ソフトバンクホークス」やサッカーＪ２「アビスパ福岡」、大相撲など地域のスポーツ情報をニュースや番組で積極的に伝え、視聴者の期待に応えます。

北九州放送局

○ 地域に安全・安心をきめ細かく伝えます。

甚大な被害をもたらす台風や大雨・地震など自然災害への備えを怠らず、地域の人々に役立つ安全・安心情報をいち早く、かつきめ細かく届けます。福岡放送局と連携を密にして日頃からデータ放送やインターネットなどで防災・減災のための情報を提供するとともに、避難場所などのきめ細かい情報は、北九州放送局単独でも伝えます。また、多くの工場や交通の要所・関門海峡がある地域の特徴を意識し、万全の体制で事故に備えるほか、特定危険指定暴力団・工藤会の裁判や現状についても詳しく伝えます。

○ 地域の課題を掘り下げ、未来をともに考えます

高齢化や人口減少、地域産業の創出、それに介護や保育の問題など北九州市が抱える課題を深く掘り下げて、平日午後６時台のニュース・情報番組で放送します。北九州地域の未来にこれから何が必要なのか、視聴者のみなさまとともに考えます。

○ 多彩な地域の魅力を全国・世界に発信します

地域に根づく伝統文化から漫画やコスプレなどのサブカルチャー、地域を元気にしようと葛藤する人たちなど、地域の魅力をニュースや番組で幅広く、深く掘り下げます。全国放送はもちろん、国際放送を通じて世界に発信することを目指します。

○ 地域のスポーツを全力で応援します

サッカーＪ３「ギラヴァンツ北九州」がＪ２昇格に挑む姿を詳しく伝えます。また、９月から開催される「ラグビーワールドカップ２０１９」や２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」への出場が期待される選手を積極的に取材し、視聴者のみなさまとともに、全力で応援します。

○ 正確で迅速な選挙報道に取り組みます

４月に実施される統一地方選挙や夏に予定されている参議院議員選挙などに万全の態勢を整えます。視聴者に判断のよりどころとなる情報を届け、公平・公正な姿勢で正確・迅速な選挙報道を行います。

熊本放送局

○ 熊本地震を教訓に、引き続き命と暮らしを守ります

震度７を２回記録した熊本地震から４月で３年。いざというとき、頼りになる地域放送局であり続けるため、防災・減災報道を強化します。また、地震や台風、火山噴火などの被害を最小限に食い止めるため、日頃から情報の提供を心がけ、気象予報士による解説や、ロボットカメラ体制の強化、最新の映像伝送技術などを利用することで、気象情報や避難に必要な情報を、いち早く詳しく伝えます。

○ 公平・公正かつ正確・迅速な選挙報道に取り組みます

２０１９年度は、統一地方選挙や参議院議員選挙などさまざまな選挙が予定されており、各市町村で予定される首長選挙および、主要な地方議員選挙の結果を正確・迅速に報道します。

○ 水俣病や人口減少など、地域の課題を掘り下げます

裁判を続ける水俣病の未認定患者の現状や、高齢化する患者の福祉の課題を多角的に取材し、問題が風化しないようこれからも伝え続けます。人口減少や、少子高齢化に伴って深刻化する介護の問題など地域の課題を掘り下げます。

○ 熊本地震を伝え続けます

いまだに２万人以上が避難生活を余儀なくされている中で、生活を再建できた人とそうでない人との格差や、コミュニティーを失った人たちなどに注目し、一日でも早く創造的復興を成し遂げる方法を視聴者とともに考え続けます。そのほか、熊本の経済再生や雇用、社会資本の整備、心のケアまで、現状や必要な施策などを検証します。地域のシンボル熊本城の再建を見つめ、天守閣の外観復旧に合わせ特集番組を制作します。

○ 大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」を盛り上げます

２０１９年１月から、熊本県出身のマラソン選手・金栗四三が主人公の大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」が始まりました。地元の放送局として大河ドラマに関するさまざまな情報を発信し、地域を盛り上げていきます。さらに、県内各地で展開される大河ドラマに関連する取り組みも積極的に伝えます。

○ 熊本の元気につながる明るい話題を届けます

熊本が舞台となる「２０１９女子ハンドボール世界選手権大会」や「ラグビーワールドカップ２０１９」など、スポーツ界のビッグイベントに注目するとともに、地域に根ざしたバスケットボールやサッカーのプロチームの活躍を伝えます。地震や噴火で被害を受けた阿蘇など観光資源の復興を取材し、ニュースや番組で積極的に取り上げるほか、国際発信を推進し、アジアをはじめ世界からの観光客を呼び戻すことにも貢献します。改元に伴う県内の動きを取材するなど、地域のさまざまな出来事を深く掘り下げて、平日午後６時台のニュース・情報番組や金曜午後７時台の地域放送番組を充実させます。

長崎放送局

○ 核兵器廃絶と平和を願う動きを伝え、被爆地の放送局として責務を果たします

「長崎原爆の日」の式典中継や番組、ニュース取材だけではなく、年度を通して核兵器の廃絶や平和を求める長崎の願いを広く全国と世界に伝え続けていきます。被爆者の高齢化がさらに進む中、被爆体験を次の世代に伝える取り組みなどを重点的に取り上げ、被爆地にある放送局としての責務を果たしていきます。

○ 命と暮らしを守る防災・減災放送をさらに強化していきます

地震や台風・大雨など自然災害の際には、正確で迅速な放送を実施します。テレビとラジオだけではなく、テレビの画面上のＬ字型画面やインターネット、データ放送も駆使してきめ細かく情報を伝え、命と暮らしを守ります。また緊急時だけではなく、ふだんのニュースの中でも防災や減災につながる情報を伝え、災害への備えと意識の向上に貢献します。

○ 統一地方選挙、参議院議員選挙など各種選挙には万全の態勢で臨みます

選挙報道にあたっては、正確・迅速かつ公平・公正な情報を発信します。統一地方選挙では、それぞれの地域の課題について、また参議院議員選挙では国政レベルの課題についても、有権者の判断に資する情報を提供します。

○ 地域のアスリート、スポーツを応援し、長崎を元気にします

「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す長崎県ゆかりのアスリートが努力を重ねる様子とその思いを取材し、長崎を元気にします。また、地元に根ざすサッカーＪリーグの「Ｖ・ファーレン長崎」については、Ｊ１返り咲きを目指して試合に臨む姿やサポーターの思いをこれまでと変わらず丁寧に取材します。

○ 長崎の歴史と文化、そして地域の課題を掘り下げ、活性化に貢献します

キリスト教や諸外国の文化と古くからつながってきた長崎の多様な歴史と文化をこれからも多角的に取材し、長崎の魅力を発信していきます。また改元に向けた県内の動きを取材するとともに、高齢化や人口減少が進む県内の状況を、広く県内全域に取材し、ニュースやドキュメンタリーとして放送することで、課題解決のヒントを探り、地域の活性化に貢献します。

○ 歴史、文化、自然をスーパーハイビジョンで記録します

スーパーハイビジョンの本放送が始まった中、長崎に残る教会などの歴史的な資産や美しい自然を超高精細な映像で記録し、長崎の魅力を全国や世界に広く発信していきます。

鹿児島放送局

○ 防災・減災報道をさらに強化し、地域の安全・安心を守ります

台風や大雨に備えて訓練を重ねるとともに、最新の機材を整備し、体制のさらなる強化に努めます。緊急時には、テレビ・ラジオだけでなく、Ｌ字型画面やデータ放送、インターネットなど、あらゆる手段を使って、生命と暮らしを守る情報をいち早く届けます。噴火を続ける桜島や、２０１８年８月に活動が再び活発化し、噴火警戒レベルが一時引き上げられた口永良部島など、火山の活動をきめ細かく伝え、防災対策や研究の最前線の情報を詳しく紹介します。

○ 正確・迅速な選挙報道に取り組み、県民の信頼に応えます

鹿児島県では、４月の統一地方選挙で、前半戦に県議会議員選挙が、後半戦に２つの町長選挙や、３つの市議会議員選挙などが行われます。夏には参議院議員選挙も予定されており、各種選挙に万全の態勢を整え、公平・公正かつ正確・迅速な選挙報道を行います。データ放送やインターネットも活用し、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。

○ 地域の課題を深く掘り下げ、県民の興味・関心に応えます

平日午後６時台のニュース・情報番組では、その日の県内の動きを詳しく伝えるとともに、少子高齢化、農業など産業の競争力強化、医療や福祉など、県民の関心が高く、暮らしに直結する問題を詳しく伝えます。金曜午後７時台の番組では、鹿児島の課題に加えて、郷土に生きる人々のひたむきな姿や、知られざる活躍、困難への挑戦に光を当てるなどして、視聴者の関心に応えます。

○ 地域の多彩な魅力を全国に発信し、未来に伝えます

２０１８年の大河ドラマ「西郷どん」による盛り上がりを継続できるよう、引き続き、歴史や文化を掘り下げて取材し、地域の活性化に貢献します。スーパーハイビジョンの特性を生かして、世界自然遺産の「屋久島」や、登録を目指している「奄美大島」など、県内各地の豊かな自然を記録し、鹿児島の風土、魅力を全国・世界に積極的に発信するとともに、次世代への継承にも努めます。

○ 地域のスポーツを応援し、鹿児島を元気にします

サッカーＪリーグの「鹿児島ユナイテッドＦＣ」が、Ｊ２に昇格しました。Ｊ１昇格に向けて挑む姿などチームの最新情報を中継やニュースで多角的に伝えます。２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」や、同じ年に鹿児島県で開催される第７５回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第２０回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に向けて、地元選手や競技に関する情報を紹介し、地域を盛り上げます。

宮崎放送局

○ 命と暮らしを守る、正確・迅速で頼りになる報道に取り組みます。
　宮崎県では南海トラフ巨大地震による津波の死者数が最大で約３万５０００人と想定されており、霧島連山の噴火や台風・大雨など自然災害への備えも欠かせません。地域の防災への取り組みや課題を継続的に取材し、県民の防災意識の向上、安全・安心な地域づくりに貢献します。また、正確・迅速で頼りになる災害報道に努め、台風や噴火の爪痕が残る被災地の様子や取り組み、課題など復興支援につながる報道にも注力します。

○ 宮崎発地域ドラマを制作し、地域の魅力を全国に発信します。
　宮崎で盛んなスポーツの一つ“サーフィン”をテーマに、思春期にある多感な若者が宮崎の美しい自然や人情、そこに暮らす人々に支えられ成長していく姿を描くドラマを制作・放送します。ドラマ本編だけではなく、関連番組・イベントなどさまざまな企画全体を通じて、視聴者との結びつきを強化し、地域の関心や期待に応えます。

○ 県内放送のさらなる充実を図り、県民へのサービス向上に努めます。
　平日午後６時台のニュース・情報番組では、旬のニュースをわかりやすく伝え、暮らしに役立つ情報やシリーズ企画などを通じ、視聴者の関心に応えるよう努めます。金曜午後７時台の地域放送番組では、地域の魅力をこれまで以上に掘り下げるとともに、多角的な視点から“宮崎”を捉え、視聴者の期待に応える番組制作を目指します。

○ 地域の課題に向き合い、解決策を探ります。
　県の基幹産業である農林水産業を取り巻く状況は依然として厳しく、過疎・少子高齢化、若者の県外流出、地域の医療・福祉、交通インフラ問題などさまざまな課題が山積しています。地域の活力をどのように取り戻すのか、課題解決を模索する番組を放送し、地域が行う課題克服に向けたさまざまな取り組みを支援します。

○ 地域の歴史・伝統・文化を全国・世界へ発信します。
　宮崎県の自然豊かな風景、各地に息づく伝統・歴史・文化・食といった地域の誇りを全国・世界へ発信します。これまで以上にスーパーハイビジョンとの一体化制作を進め、より映像表現の付加価値を高め“宮崎の魅力”を伝えます。

○ 地域のスポーツ振興に寄与します。
　“東京２０２０”に向けて、宮崎県にゆかりのある選手の情報を発信します。また、野球・サッカーなど多くの競技でキャンプや合宿が行われる「スポーツランドみやざき」の魅力を全国に発信し、地域のスポーツ振興に貢献します。

○ 各種選挙に万全の態勢で臨み、正確・迅速な選挙報道に取り組みます。
　２０１９年度は４月の統一地方選挙・夏の参議院議員選挙のほか、２つの市と町で首長選挙が予定されています。選挙情勢をこまやかに取材し、有権者のよりどころとなる情報を伝え、選挙結果を正確・迅速に報道します。

大分放送局

○ 安全・安心情報を迅速に届け、防災・減災に貢献します

台風や大雨・地震などの自然災害に備え、県民の生命と暮らしを守る防災・減災情報を迅速に伝えます。テレビ・ラジオ・インターネット・データ放送などを活用し、きめ細かな情報を届けます。また、集中豪雨や土砂崩れの被災地について、現状や課題を引き続き取材し復興を支援します。

○ 公平・公正な選挙報道に取り組みます

大分県知事選挙（任期満了日・２０１９年４月２７日）・大分市長選挙（任期満了日・２０１９年４月２５日）・別府市長選挙（任期満了日・２０１９年４月２９日）をはじめとする４月の統一地方選挙、夏の参議院議員選挙に万全の態勢で臨みます。選挙に向けた動きや県内の課題を公平・公正な姿勢で取材し、有権者の判断のよりどころとなる正確な情報を届けます。

○ 地域の課題を掘り下げ、未来をともに考えます

少子高齢化や若者の県外流出、農林水産業の担い手不足の問題など、大分県が直面する課題を深く掘り下げて取材します。平日午後６時台のニュース・情報番組や金曜午後７時台の地域情報番組などで詳しく伝え、地域のこれからをともに考えます。

○ 地域のスポーツ振興に寄与します

秋に開催される「ラグビーワールドカップ２０１９」では、九州で最も多い５試合が大分市で行われます。有力チームが県内で行うキャンプ情報やボランティアの準備など、関連する話題を多く取り上げ大会を盛り上げます。サッカーＪ１に昇格した「大分トリニータ」をはじめとしたプロスポーツの情報も積極的に取り上げます。２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」出場を目指す県出身選手の動向についても詳しく伝えていきます。

○ 大分の魅力を全国・世界に発信します

温泉や食など大分県の豊かな自然や伝統文化を平日午後６時台のニュース・情報番組や金曜午後７時台の地域情報番組で特集し、より一層の地域密着を進めます。全国放送や国際放送にも広く展開し、観光面でも地域に貢献します。

佐賀放送局

○県民の安全・安心を守るため、正確・迅速で頼られる報道を目指します

２０１８年７月、県として初の大雨特別警報が発令され、県民の防災意識が飛躍的に高まりました。県民の命と暮らしを守るための情報を、テレビ・ラジオはもちろん、データ放送やインターネットなどあらゆる手段で正確・迅速に伝えます。

○地域の抱える課題をわかりやすく伝え、県民の“知りたい”に応えます

玄海原子力発電所は、２０１８年に３号機と４号機が相次いで再稼働した一方で、１号機と２号機の廃炉が決定し、県民の関心が高まっています。また、知事が受け入れ表明をした佐賀空港への自衛隊輸送機オスプレイの配備計画についても、日々事態が動いています。有明海の再生、九州新幹線長崎ルートの建設、農業問題など、県の将来を大きく変える動きをタイムリーに伝え、ニュースや番組でその問題点を詳しく、かつわかりやすく解説していきます。さらに、４月の統一地方選挙や夏に予定されている参議院議員選挙をはじめ、県内で行われる各種選挙に万全の態勢で臨み、正確・迅速な選挙報道に取り組みます。

○地域放送番組をさらに充実させます

平日午後６時台のニュース・情報番組は、“これさえ見れば佐賀がすべてわかる”を目指します。平日午前１１時台の情報番組では、県内の生活情報やイベント情報をきめ細かく発信します。金曜午後７時台では、地域の社会問題、産業を取り上げた番組はもちろん、地域の宝、地域の自慢がたくさん見られる、地域に寄り添った番組を制作し、視聴者の期待に応えます。

○「サガン鳥栖」をはじめ、県内のスポーツを応援します

２０１８年シーズンは、降格の危機を乗り越え残留した「サガン鳥栖」。サッカーＪ１に昇格して８年、常に県民の大きな期待を集めています。佐賀局では試合中継のほか、ニュースや番組で、チームの最新情報を伝えます。また、野球やラグビー、陸上競技など、アマチュアのさまざまな競技も取り上げ、地域のスポーツ振興に貢献します。特に、視聴者の関心が高い「ラグビーワールドカップ２０１９」や「東京オリンピック・パラリンピック」に向けては、県出身の選手などを積極的に取材し、紹介していきます。

○県内の文化的活動を盛り上げます

７～８月に、「第４３回全国高等学校総合文化祭（２０１９さが総文）」が佐賀県で開かれます。佐賀局は開催地の放送局として、ふだんなかなか紹介していない文化部の活動に光を当てるほか、県内の文化的活動に関連する番組を放送し、地域を盛り上げます。

○スーパーハイビジョンの普及促進に努めます

佐賀の豊かな自然や伝統的な祭りなどを４Ｋ・８Ｋの超高精細映像で記録するほか、記録した素材のスーパーハイビジョンでの展開を図り、新時代に向けた新たな放送サービスの形を提供していきます。

沖縄放送局

○ “沖縄独自”の放送に注力し、県民のニーズに応えます

平日午後６時台のニュース・情報番組では、全国一厳しい雇用や貧困問題、基地問題から、衣食住の身近な話題まで、さまざまなジャンルの動向を機動的に発信します。金曜午後７時台は、県民の関心が高い問題をさらに掘り下げる情報番組と、伝統芸能の魅力を継承する番組の２つを軸に、“沖縄独自”にこだわって伝えます。また平日午前１１時台の情報番組では、日々の暮らしに役立つテーマを中心に放送を展開していきます。

○ 沖縄戦の記録・記憶を引き継ぎ、平和のメッセージを発信し続けます

太平洋戦争末期に４人に１人が犠牲となった沖縄戦。今年で１１年続けての中継となる、６月２３日の「慰霊の日」の「沖縄全戦没者追悼式」全国中継を軸に、ニュースや番組で全国に向けて発信します。また年間を通じ沖縄戦の記憶を語り継ぎ、“非武”を旨とし世界の懸け橋をと願う“万国津梁（しんりょう）”の平和のメッセージを発信し続けます。

○ 公平・公正かつ正確・迅速な選挙報道で、県民の信頼を高めます

県知事選挙をはじめ重要選挙が相次いだ２０１８年度に続き、２０１９年度も衆議院議員補欠選挙、参議院議員選挙が予定されています。基地問題への対応など、選挙を巡る動きをいち早く伝えるとともに、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。また、投開票に際しては、公平・公正かつ正確・迅速な選挙報道を行います。

○ きめ細かな報道で、県民の命と暮らしを守るための災害情報を提供します

毎年多くの台風が強い勢いで通過する沖縄。Ｌ字型画面、特設ニュース、データ放送、インターネット等あらゆる方法で台風の動向を正確・迅速に伝え、また避難所やライフラインなど安全や命に関わる情報をきめ細かく伝えることで、安全・安心に資する災害報道を目指します。年々増加する外国人観光客への情報提供にも取り組んでいきます。

○ 沖縄独特の文化や自然の魅力を全国・世界に届け、未来に伝えます

ユネスコの無形文化遺産に指定されている「組踊」が誕生３００周年を迎えます。同じ年にくしくも放送開始５０年となる地域放送番組「沖縄の歌と踊り」を軸に、歴史的な年を盛り上げます。また世界中の観光客を魅了する豊かな自然や美しい風景を記録。沖縄独特の文化や自然の魅力を、スーパーハイビジョンも駆使しながら、全国・世界に向けて発信していきます。

○ 沖縄のスポーツを盛り上げます

サッカーＪ３から昇格し初めてＪ２で戦う「ＦＣ琉球」と、優勝を争うバスケットボールＢリーグの強豪「琉球ゴールデンキングス」。地元プロスポーツの活躍を丁寧に伝えます。さらに、「東京オリンピック」追加種目となった沖縄発祥の空手など、２０２０年の東京大会を目指すアスリートの挑戦や、高いレベルで競う高校野球を熱く伝えます。

２０１９年度　東北地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

東日本大震災から８年がたちました。被災地では土地の造成や災害公営住宅の建設が進む一方、震災の傷痕が消えてゆくことで人々の記憶も薄れていく、“震災の風化”への懸念が一層高まっています。そこで、２０１９年度から新たに“震災の記憶の伝承”につながる取り組みをスタートさせます。被災地の自治体やＮＰＯとの連携も強化し、伝承の取り組みを丁寧に取材。東北そして全国に向けて積極的に情報を発信していきます。また、震災１０年、さらにその先を見据え、これまで蓄積してきた映像を被災地の伝承施設と共有するプランを検討するなど、震災の経験を未来に生かす取り組みを始めます。

気象の変化とそれに伴う大規模な自然災害は東北地方も例外でなく、大型台風の襲来や集中豪雨、記録的猛暑などに多く見舞われています。災害の発生前にテレビ・ラジオ・Ｌ字型画面・インターネット・データ放送などあらゆる手段を使って、地元の放送局ならではのきめ細かな情報を発信することで、地域の人々の生命・財産を守る“公共メディア”としての責務を果たします。

東北が持つ豊かな自然や文化、伝統などをスーパーハイビジョン（４K・８K）の技術を駆使して記録し、その魅力を全国、世界に発信する取り組みに力を入れます。また、人口減少や農林水産業の振興など東北地方が抱える課題に向き合うとともに、仙台の新会館を活用した東北地方向けの番組をさらに充実させ各地の魅力を新たに発見していくなど、“メディア基地”として“地域に親しまれる放送局”を目指します。

被災地でも開催される「ラグビーワールドカップ２０１９」。そして２０２０年「東京オリンピック・パラリンピック」の聖火リレーが東北からスタートします。“東京２０２０”を“復興五輪”と強く位置づけ、大会に向けたさまざまな動きを積極的に取り上げていきます。東北の魅力を全国・世界に発信し、風評を払拭（ふっしょく）することで、インバウンド・アウトバウンドを活性化させ、被災地復興につながる放送サービスを充実させます。

≪各局の重点事項≫

仙台放送局

○ 震災の記憶伝承に向けた新たな取り組みをスタートさせます

東日本大震災から８年がたち、震災の傷痕も記憶も年々薄れつつある中、震災をどのように後世に伝えていくかが大きな課題となっています。仙台放送局では、一つの区切りとなる震災１０年を前に、今なお残る傷痕や震災遺構を映像で記録する取り組みに着手します。撮影はスーパーハイビジョンなどＮＨＫが持つ最新技術を駆使し、地震や津波の被害の細部を記録します。さらに伝承や復興に資するさまざまな取り組みを自治体やＮＰＯ、被災地の未来を担う若者たちと共同で立ち上げ、その過程を放送していくことで震災復興における公共メディアとしての役割を果たしていきます。

○ 文化・情報の発信基地として地域での存在感を高めます

２０１８年２月のオープン以来、新会館を活用したさまざまな公開番組やイベントを実施してきました。仙台市の中心部という立地条件にも恵まれ、これまでに１０万人を超す地域の方々が来館しています。２０１９年度は地域の“メディア基地”として、その存在感を一層高めるため、週末に家族連れや観光客にも楽しんでもらえる生放送の公開番組を開発します。宮城そして東北の魅力を再発見し、イベントとの連動も図りながら、地域により親しまれる放送局を目指します。

○ “東京２０２０”を復興五輪と位置づけスポーツの盛り上げと被災地復興に貢献します

２０１９年度末にはギリシャで採火された聖火がいよいよ宮城県に到着し、「東京オリンピック・パラリンピック」の機運が一気に高まります。競技の開催地になっている宮城にとって、まさに“復興五輪”の幕開けです。東京大会で活躍が期待される県勢アスリートを広く取り上げ、放送・サービスを通して応援していきます。また、競技開催地の話題など、“東京２０２０”に関わるさまざまな取り組みを積極的に取材し、全国・世界に発信することで被災地の復興に寄与します。

○ 災害が起きる前に情報を伝える“防災・減災報道”に全力を尽くします

これまで経験したことのない自然災害が増えています。災害が発生してからではなく、災害が起きる前に避難を呼びかけるなど、県民の安全・安心を守る情報発信に努めます。情報は、テレビやラジオのニュースだけでなくＬ字型画面、データ放送、インターネットなど、デジタルメディアにいち早く展開し、より多くの人々に伝える防災・減災報道に全力で取り組みます。

秋田放送局

○ 地域の安全・安心を守る情報発信に全力で取り組みます

台風・大雨・地震に加えて、大雪のような北国特有の自然災害に備えます。テレビ・ラジオ・Ｌ字型画面・インターネット・データ放送などあらゆる媒体を通じて、地域の人々の生活を守るきめ細かな防災・減災のための情報を正確・迅速に伝えます。また、平日午後６時台のニュースや県域のラジオ放送、緊急報道などで気象予報士によるわかりやすい気象情報を引き続き発信します。

○ 地域を元気にする話題や課題に向き合い、地域の将来をともに考えます

人口減少・少子高齢化・農業政策の転換・「イージス・アショア」配備の問題など地域が抱える課題に正面から向き合うとともに、地域を元気にする話題を、平日午後６時台のニュース・情報番組や金曜午後７時台の番組、全国放送番組などでわかりやすく、掘り下げて放送します。地域の将来を視聴者とともに考えます。９月７日、８ 日には「全国豊かな海づくり大会」が秋田で開催されます。県内外の注目が集まるこの行事に向けて全局一体となり十分に準備を進め、放送を通じて地域振興に貢献します。

○ スーパーハイビジョンを通じて、地域の多彩な魅力を発信します

秋田放送局では、大曲の花火や秋の八幡平など秋田が誇る行事や自然を４Ｋ・８Ｋ映像で記録してきました。２０１８年１２月にスーパーハイビジョンの本放送が始まり、秋田の四季折々の風景や地域に根づく伝統・文化などの“秋田の宝”を超高精細な映像でこれまで以上に魅力的に伝えることが可能になりました。引き続きそうした“秋田の宝”をスーパーハイビジョンで記録するとともに、国内放送・国際放送を通じて、積極的に発信します。

○ 地域のスポーツを応援し、地域の活性化につなげます

２０１８年、秋田県は金足農業高校の夏の甲子園での活躍に沸き、秋田放送局は試合の中継、ニュース、特別番組でその模様を伝えました。引き続き、高校野球、バスケットボールＢ１「秋田ノーザンハピネッツ」、サッカーＪ３「ブラウブリッツ秋田」など地域のスポーツの魅力を中継やニュース・情報番組でたっぷり伝え、地域の活性化につなげます。また、２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」の機運を高めるために、地域の若手アスリートや有望選手の活躍や地域の取り組みを積極的に発信します。

○ 正確・迅速な選挙報道で地域の信頼に応えます

２０１９年度に行われる統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）、第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）において、万全の態勢を整え、地域の課題や選挙の争点などをわかりやすく伝えるとともに、有権者の判断のよりどころとなる公平・公正な情報を正確・迅速に伝えます。

山形放送局

○ 災害から命を守る情報を発信します

最近の気候の変化に伴って、山形県では、台風、集中豪雨、記録的猛暑による被害が相次いでいます。地域特有の災害である、日本海の津波、蔵王山の噴火への警戒も続いています。地域の放送局として、災害の発生前に、避難の呼びかけや災害への備えのきめ細かな情報を、Ｌ字型画面、テレビ・ラジオのニュース、データ放送、インターネットとあらゆる手段を使って発信します。災害から地域の人たちの命を守る、“公共メディア”としての責務を果たします。

○ 地域の課題と解決策を考えます

山形県では、農業、医療、介護の現場で、さまざまな課題が出てきています。過熱するブランド米競争と農家の後継者不足、医療的ケア児の問題、介護の担い手不足といった地域が抱える課題を、平日午後６時台のニュース・情報番組で、一つ一つ丁寧に取り上げていきます。金曜午後７時台の県域放送番組はさらに充実させ、課題の背景を深く掘り下げ、地域の人たちと一緒にその解決策を考えます。

○ 地域の魅力を全国・世界に発信し、地域に貢献します

山形県の豊かな自然を、スーパーハイビジョン（４Ｋ・８Ｋ）の技術を駆使して記録します。山形県の身近な山の魅力を、放送とインターネットを連動させて多角的に紹介します。また、米・日本酒・果物などの食、歴史、文化、自然などの地域の魅力を放送とインターネットを通じて伝えることで国内と海外の観光客の増加につなげ、地域に貢献します。

○ 「東京オリンピック・パラリンピック」を、ホストタウンと一緒に盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」のホストタウンに登録している自治体が多い山形県では、合宿や視察受け入れの動きが本格化します。ホストタウンの自治体の国際交流や相手国の選手受け入れの動きを放送やイベントで取り上げ、県内の自治体と一緒に「東京オリンピック・パラリンピック」を盛り上げます。

○ 地域のスポーツを応援します

「東京オリンピック・パラリンピック」への出場を目指す地元の選手の活躍を伝え、地域からオリンピックに向けた機運を高めていきます。地元のプロスポーツチーム、サッカーＪ２「モンテディオ山形」とバスケットボールＢ２「パスラボ山形ワイヴァンズ」を取り上げるほか、地域のスポーツを応援します。

盛岡放送局

○ 東日本大震災の記憶の風化を防ぎ、被災地の教訓を全国に伝えます

東日本大震災の発災から８年、被災地では、災害公営住宅や復興支援道路などハード面での整備が仕上げの時期を迎える一方、コミュニティーの再生や高齢化、地場産業の再興など課題は多様化しています。震災から１０年という一つの節目を見据え、記憶の風化と闘いながら、人々の思いや地域再生への取り組みをきめ細かく取材し、全国・世界に発信します。全国で相次ぐ大規模災害に対して、被災地の経験と教訓を伝え、人々の防災意識を高めます。

○ あらゆるメディアを駆使して、一人ひとりに届く防災・減災報道に全力を挙げます

自然災害から命と暮らしを守るため、視聴者への呼びかけの言葉やＬ字型画面など伝え方を絶えず工夫しながら、テレビやラジオ、インターネットなどあらゆる手段を駆使して必要な情報を適切なタイミングで発信し、一人ひとりに届く防災・減災報道を強化します。最新技術を生かした気象データの提示や演出の工夫で、気象情報を一層充実させるとともに、気象予報士や防災士のネットワークを活用し、日頃より防災意識の向上を図ります。ラジオでは、双方向性を生かしながら、地域情報を充実させる番組づくりを進め、災害時に役立つメディアとしての機能を強化します。

○ 岩手の“いま”を見つめ、未来をともに考え、全国・世界に広く発信します

平日午後６時台のニュース・情報番組と金曜午後７時台の岩手県向け番組を軸に、地域に寄り添った身近な情報発信を充実させるとともに、人口減少や農業問題など地域が今抱えている課題を深く掘り下げながら解決策を探り、岩手の未来をともに考えます。後世につなぐ自然や文化など地域の魅力をスーパーハイビジョンも活用して、全国・世界に発信します。インターネットを活用して、さまざまな世代の方に接してもらう機会を増やします。

○ スポーツの祭典に向けて、地域の取り組みを積極的に発信します

釜石市で開催される「ラグビーワールドカップ２０１９」では、ラグビーとともに歩んできた地域の取り組みや人々の思いを全国・世界に発信し、盛り上げます。「東京オリンピック・パラリンピック」まで１年、地元ゆかりのアスリートの活躍とともに聖火リレーやホストタウンなど大会に向けた動きを積極的に取り上げ、大会への機運を高めます。

○ 選挙報道では正確・迅速な報道に万全を尽くします

参議院議員選挙や岩手県知事・県議会議員選挙（任期満了日・２０１９年９月１０日）、盛岡市長選挙（任期満了日・２０１９年９月１日）と有権者の関心が高い選挙が相次ぎます。地域が抱える課題や選挙の争点を有権者に公平・公正に伝えるとともに、正確・迅速な選挙報道を実践します。

福島放送局

○ 福島の課題をわかりやすく発信し、解決の糸口を探ります

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から８年。避難指示解除地域で深刻化するコミュニティーの分断、たび重なるトラブルの発生で先が見通せない廃炉への道のり、根強く残る風評被害など、福島を取り巻く課題は複雑さを増しています。現状をわかりやすく伝え解決策を探るとともに、前向きな動きも取り上げ、復興への歩みを後押しします。

○ 幅広い情報発信を通じて、防災・減災に努めます

台風・豪雨被害など多発する自然災害に対して、Ｌ字型画面をいち早く立ち上げて正確できめ細かい情報を伝えるとともに、データ放送、インターネットなど、あらゆる手段を活用して、地域の防災・減災に努めます。ラジオでは、平日午後５時台の地域情報番組を通じて築いた聴取者や県内各市町村とのネットワークをさらに強固なものとし、地域に即した災害情報の収集や発信に備えます。

○ 選挙報道では争点をわかりやすく伝え、正確かつ迅速に結果を報道します

参議院議員選挙や、福島県議会議員選挙（任期満了日・２０１９年１１月１９日）では、地域の復興をはじめとした多様な争点をわかりやすく伝え、有権者の選択に役立つ情報を提供します。選挙結果についても正確かつ迅速に報道し、視聴者の関心に応えます。

○ 福島の多彩な魅力を県内外に届けます

四季折々の美しい自然、歴史に育まれた伝統文化、果物や日本酒といった豊富な食文化など、福島は多彩な魅力にあふれています。これらの魅力を地元局ならではの切り口でテレビやラジオ、ホームページなどを活用して全国や世界に届けることで、地域貢献へとつなげていきます。

○「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて地元を盛り上げます

「東京オリンピック」の聖火リレーが２０２０年３月に福島県でスタートするのに加え、野球・ソフトボールが開催されることで、県内では関心が高まっています。オリンピック・パラリンピックでの活躍が期待される、女子サッカーや陸上競技などの地元アスリートに密着するとともに、地域でのさまざまな取り組みを紹介し、より一層盛り上げていきます。

青森放送局

○ “安全・安心”につながる情報を正確・迅速に発信します

県民の生命・財産を災害から守るため、災害時には迅速に緊急報道態勢を整え、テレビ・ラジオとともに、Ｌ字型画面やデータ放送、インターネットなどあらゆる手段を活用して地域の減災報道に努めます。日頃から継続的に防災・減災につながる放送をテレビ・ラジオで発信します。

○ 平日午後６時台のニュース・情報番組をさらに充実させます

全国最下位の平均寿命、雇用問題、医療・福祉など県内の課題、農林水産業や原子力関連施設を巡る動き、きめ細かい気象情報や“青函連携”による経済効果、各分野で活躍する青森にゆかりのある人々を取材し、県民の関心に応えます。青森県知事選挙（任期満了日・２０１９年６月２８日）では公平・公正な報道に万全を尽くします。

○ 青森の魅力を全国・世界に発信し、地域を元気にします

金曜午後７時台では青森の自然や文化、食や産業などのテーマを深く掘り下げた番組を制作し、県民だけでなく全国・世界へ青森の魅力を届けます。さらに東北を代表する祭り「青森ねぶた祭」の迫力や美しさが伝わる番組をスーパーハイビジョン（８Ｋ）で制作・放送し、全国に発信します。

○ ラジオをより身近なものにしてもらえるよう取り組みます

ラジオの地域放送番組を充実させ、ソーシャルネットワーキングサービスを活用しながら新たなリスナーの獲得を図るとともに、公開放送を行うなど聴取者との結びつきを一層強化し、災害時に身近で頼れるメディアとして聴取者の理解を深めます。

○ 地域のチームやスポーツ選手の活躍を伝え、スポーツ振興に貢献します

「東京オリンピック・パラリンピック」に出場が期待される青森県出身のアスリートや、２０２０年に向かってスポーツ分野で取り組む人々の活躍を伝えます。また、青森県初のサッカーＪリーグクラブとなった「ヴァンラーレ八戸」が新たな舞台で強豪チームに挑む姿や試合結果、チーム状況などを多角的に伝えるほか、大相撲の郷土出身力士や、青森にゆかりのあるスポーツ選手・チームを幅広く取材し、地域とともに盛り上げていきます。

２０１９年度　北海道地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

ＮＨＫ北海道は、道内７つの放送局が一丸となって、地域の安全・安心の拠点として役割を果たします。放送を太い幹としつつ、インターネットによるサービスも活用して地域の人たちとともに地元の魅力を磨き、課題解決に汗を流して地域社会の活性化に貢献します。

命と暮らしを守る災害・緊急報道に全力で取り組み、多様な手段を活用して正確・迅速に伝えます。２０１８年に発生した北海道胆振東部地震の被災地を継続取材するとともに、自然災害に備える防災・減災報道に取り組みます。災害に負けず頑張っている人や地域を応援する「元気いっぱい　北海道」キャンペーンも継続します。また、統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）、第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）では公平・公正な選挙報道に努めます。

地域の核となって地域の人たちとともに北海道の魅力や情報を多様な手段で発信します。道内各放送局のホームページのリニューアルを進め、よりきめこまやかに各地域のニュースや情報を伝えていくとともに、視聴者との双方向コミュニケーションを充実させ“公共メディア”を目指します。

北海道の政治・経済・社会のニュース・情報を、多角的に伝えるとともに、地域に密着して掘り下げ、課題の解決策を探ります。日本とロシアの間で平和条約締結交渉を加速させることで合意した北方領土を巡る今後の政府間の動向に注意を払いつつ、元島民の思いや共同経済活動の進展など多角的に伝えます。

北海道の自然・食・文化・歴史の魅力を全国、世界へ発信します。北海道と命名されて１５０年の節目を記念した札幌局オリジナルドラマ「永遠のニシパ～北海道と名付けた男　松浦武四郎～」、２０１９年度前期連続テレビ小説「なつぞら」の関連番組を積極的に展開します。

北海道を拠点とする地元スポーツチームの活躍やウインタースポーツ活動を応援するとともに、２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた動きや、北海道ゆかりの選手を紹介します。

≪各局の重点事項≫

札幌放送局

○ 北海道７局の中核として各放送局と緊密に連携し、地域の安全・安心を守ります

道内７局のネットワークを生かして、命と暮らしを守る災害・緊急報道に全力で取り組みます。災害・緊急時には、当該地域への支援態勢を速やかにとり、テレビ・ラジオをはじめ、Ｌ字型画面、データ放送、インターネットなど多様な手段を活用して、正確・迅速に情報を伝えます。２０１８年の北海道胆振東部地震の被災地を継続して取材するとともに、地震や津波、台風、火山噴火、暴風雪などさまざまな自然災害に備える防災・減災報道に取り組みます。

○ 北海道の政治・経済・社会の動向や課題、将来の展望などを広い視野で伝えます

鉄道路線見直しをはじめとする公共交通の行方、超高齢化や過疎化、後継者不足など将来の基盤を揺るがす課題が山積しています。道内各放送局と連携し、地域に密着して掘り下げ課題の解決策を探ります。北海道知事選挙（任期満了日・２０１９年４月２２日）や札幌市長選挙（任期満了日・２０１９年５月１日）をはじめとする統一地方選挙、参議院議員選挙では、有権者の投票行動の参考になるような公平・公正な選挙報道に努めます。

○ 北海道の魅力を全国、世界へ発信し、北海道を盛り上げます

北海道１５０年記念ドラマ「永遠のニシパ～北海道と名付けた男　松浦武四郎～」や２０１９年度前期連続テレビ小説「なつぞら」の放送にあわせて、関連番組などを積極的に展開し、豊かな自然、食、文化など北海道の魅力を全国、そして世界へ向けて発信していきます。

○ 地元スポーツチームや地域のスポーツを応援します

２０２３年に本拠地を移転するプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」、２０１８年にクラブ史上最高のリーグ４位となったサッカーＪ１「北海道コンサドーレ札幌」をはじめとする地元スポーツチームやウインタースポーツなど、地域のスポーツ活動を応援します。また、２０２０年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた動きや、北海道ゆかりの選手を紹介します。

函館放送局

○ 命と暮らしを守る災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組みます

地震や津波、台風、北海道駒ヶ岳や恵山の噴火など、自然災害から命と暮らしを守る防災報道に全力で取り組むとともに、減災に役立つ情報を発信します。また、突発的な緊急報道にも全力で当たり、地域の安全・安心につなげます。

○ 統一地方選挙、参議院議員選挙を含め、選挙報道に万全を期します

函館市長選挙（任期満了日・２０１９年４月２６日）など、自治体の長、議会議員の選挙に万全の態勢で臨みます。また、夏に行われる参議院議員選挙に向けて、道内の情勢を見極め、正確・迅速に報道を行います。

○ 地域の応援団として、道南の地域振興に貢献します

北海道胆振東部地震の影響で観光客が減少している状況を踏まえ、地域が元気になれる情報発信を行います。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録への動向を含め、新幹線やフェリーで本州と結ばれる北の玄関口として、青森放送局との青函連携を強化し、地域文化の発展に寄与します。

旭川放送局

○ 地域の安全・安心を守る災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組みます

２０１８年は道北地方でも大雨や北海道胆振東部地震による大規模停電などで生活や産業に大きな打撃を受けました。また十勝岳の噴火、地震や津波のおそれもあります。地域住民の命と暮らしを守る災害・緊急報道に全力で取り組み、地域の状況をきめ細かく発信します。さらに被災地の教訓や課題を取材し防災・減災報道を継続します。

○ 地域が抱える課題や新しい取り組みを掘り下げて伝えます

ＪＲ北海道の鉄道路線見直しによる道北地域への影響や“貨客混載”など新たな地域の取り組みを掘り下げて伝えます。また後継者不足に悩む１次産業や北海道胆振東部地震の影響が続く観光業など道北地方の課題について視聴者とともに展望を考えます。統一地方選挙、参議院議員選挙についても正確・迅速にお伝えします。

○ 地域とともに歩み、親しまれる“開かれた放送局”を目指します

地域と交流し、地域とともに考え、放送やインターネットを生かして情報発信する“開かれた放送局”を目指します。道北地方の豊かな自然や食、人々を紹介するとともに「元気いっぱい　北海道」キャンペーンを継続します。また、２０２０年「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて道北地方ゆかりの選手や地域の取り組みを紹介します。

帯広放送局

○ 十勝の安全・安心拠点として緊急報道、防災・減災報道に取り組みます

２０１６年夏に台風による甚大な被害が発生しました。台風被害だけではなく、十勝沖地震による津波被害、雌阿寒岳・十勝岳の噴火災害への備えも欠かせません。命と暮らしを守る災害・緊急報道、ライフライン情報の充実を図るとともに北海道胆振東部地震を受けて日頃から防災・減災の取り組みを発信します。

○ 連続テレビ小説「なつぞら」に連動し、地域の活性化に貢献します

十勝が舞台となる２０１９年度前期連続テレビ小説「なつぞら」にあわせて視聴促進や十勝の魅力の発信に全局態勢で取り組みます。また“地域の応援団”として深刻さを増す人手不足を背景にした農業現場の最新の取り組みや民間企業による宇宙ロケット開発の最前線の動きを全国に発信します。

○ 新たな視聴者コミュニケーションで視聴者満足度の向上を目指します

十勝地方の視聴者に関心の高いテーマを掘り起こし、多くの視聴者から寄せられる声に丹念に耳を傾け、取材・放送に反映する新しい視聴者コミュニケーションに取り組みます。生活者目線で関心のあるテーマを積極的に掘り起こし、ＮＨＫと生活者との距離を縮める取り組みを進めます。

釧路放送局

○ 巨大地震・津波に備え、地域の安全・安心の拠点となる報道に取り組みます

“千島海溝での巨大地震が切迫している可能性が高い”と政府の地震調査委員会が発表して以降、道東では不安が広がっています。地震と津波から命と暮らしを守る情報を日頃から伝えるとともに、災害・緊急時にきめ細かい情報の発信に努めます。暴風雪、台風、それに常時観測火山の雌阿寒岳などの的確な情報も発信していきます。

○ 北方領土問題をはじめとした釧路・根室地方の“いま”に向き合います

日本とロシアの政府間交渉で大きな展開を見せ始めている北方四島の行方や共同経済活動の動きを丹念に伝えていきます。高齢化が著しい元島民やその２世、３世などの声も多く伝え、北方領土問題に正面から向き合います。また酪農や漁業、鉄道路線見直しの課題などを掘り下げて取材し、地域の将来像について考えるための情報を伝えます。

○ 道東の魅力を発信し、地域により親しまれる放送局を目指します

知床や釧路湿原などの雄大な自然を記録し、全国・世界へ発信します。地域放送番組も重視し、釧路・根室地方の身近な話題や情報を紹介していきます。公開放送やイベントの開催、さらにインターネットコンテンツを通じて“公共メディア”として、地域との結びつきを強め、より親しまれる放送局を目指します。

北見放送局

○ 地域の安全・安心の拠点として、災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組みます

ここ数年、オホーツク地方でも、暴風雪や台風による大雨、河川の氾濫などの自然災害が相次いでいます。地域の人たちの安全・安心を守る災害・緊急報道に全力で取り組むとともに、日頃から防災意識の向上につながる放送を充実させ、減災に貢献していきます。

○ 地域の課題と向き合い、解決策を探ります

人口の減少や鉄道路線の見直し、国際的な貿易交渉で揺れる農業など、地域が抱える課題に真正面から向き合い、掘り下げて伝えます。テレビやラジオ、インターネットなどを活用して地域の目線に立ったニュースや番組を発信し、解決へ向けたヒントを探ります。

○ オホーツク地方の魅力を、全国、世界に向けて発信します

世界自然遺産・知床をはじめとする豊かな自然や、かつて隆盛を誇った北見市のハッカ産業など地域の歴史や文化を見つめ直し、全国や世界に向けて発信します。「ラグビーワールドカップ２０１９」やカーリングなどで盛り上がる地域の取り組みを積極的に取り上げ、応援していきます。

室蘭放送局

○ 地域の命と暮らしを守る、災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組みます

２０１８年９月には北海道胆振東部地震が発生し、大きな被害が出ました。こうした大規模災害から命と暮らしを守る緊急報道に万全を期すとともに、被災地の復旧・復興の状況を伝えていきます。また、胆振地方の３つの活火山、有珠山・倶多楽・樽前山について、視聴者の役に立つ防災・減災報道に全力で取り組みます。

○ 胆振・日高が直面している課題や、その解決策、新たな取り組みを発信します

日本の人口減少社会の縮図といわれる北海道の中でも、とりわけ特徴的な、胆振・日高で、製造業の縮小や病院の再編、空き家対策など、直面する課題を多角的に捉えて、人口の急減に歯止めをかけ、地域の持続可能性を高めるには何が必要なのか伝えていきます。

○ 胆振・日高の魅力を積極的に発信し、地域の活性化に貢献します

２０２０年の開設に向けて準備が進む「民族共生象徴空間」の情報とともに、胆振・日高に受け継がれているアイヌ文化について、広く伝えていきます。農林水産業、工業、観光など、幅広い産業からなる地域の魅力、ユニークな活動を発信し、地域の活性化に積極的に貢献します。

２０１９年度　四国地方向け地域放送番組編集計画

≪基本方針≫

四国地方の各放送局は、各地の安全・安心の拠点として、住民の命や暮らしを守る情報の発信に全力で取り組みます。地域の視聴者ニーズを調査・分析し、関心の高い県域放送をさらに充実させます。公共メディアとして地域の課題に向き合うとともに、美しい自然など多彩な魅力を多様なコンテンツで伝え、四国の活性化に寄与します。

四国は南海トラフ巨大地震・津波のリスクに直面しています。日頃から防災・減災に役立つ情報を発信し、四国の広範囲にわたる災害報道においては、４つの放送局の取材・制作力を結集して、幅広く伝えます。ライフライン情報など地域のみなさまが必要としている情報を、デジタル展開も含めてきめ細かく発信します。２０１８年７月の西日本豪雨の災害報道の経験も踏まえ、放送設備の充実や訓練を行い、緊急報道の体制強化に努めます。

２０１９年は平成が終わる年です。四国は瀬戸大橋、明石海峡大橋、しまなみ海道の３ルートができたこともあって、この３０年、人や物の流れだけでなく、人々の暮らしも大きく変わりました。平成の３０年間を振り返るとともに、これからの四国の将来像を考えていきます。また、変わらない四国の魅力が豊かな自然や文化です。各地の美しい景観を巡る企画や伝統の祭りなどを積極的に発信し、スーパーハイビジョンの超高精細映像でも四国の魅力をアピールします。

四国の放送局をより身近な存在にするため、視聴者と放送局を結びつけるさまざまな施策を四国応援プロジェクト「ハッとホッとずっと」キャンペーンで行います。地元密着の県域放送をはじめ、地域のみなさまと一緒に作り上げる「もっと四国音楽祭」の開催など多面的に展開します。地元との結びつきを一層強め、より親しまれ信頼される放送局を目指します。

≪各局の重点事項≫

松山放送局

○県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に最優先で取り組みます

南海トラフ巨大地震・津波に備え、地域の防災・減災に全力で取り組みます。西日本豪雨の経験を踏まえ、ダムの放流や河川水位の情報などを迅速に伝えます。インターネットやデータ放送なども含め、さまざまな手段で地域の人たちが必要としている情報をきめ細かく届けます。放送設備の充実や訓練を行い、緊急報道の体制強化に努めます。

○西日本豪雨の被災地復興を支援します

西日本豪雨で愛媛県は甚大な被害を受けました。農業など１次産業への被害も大きく、復興は始まったばかりです。被災地に寄り添って現状や課題を伝え、復興に取り組む地域の人々を後押しする放送を続けます。公開番組やイベントなどで被災地に元気と希望を届け、復興を支援します。

○愛媛県や四国の魅力を伝える多彩な番組を届けます

愛媛県向けの番組について視聴者のニーズを調査・分析し、より充実させて県民の関心、期待に応えます。四国各地の景観を自転車で巡る企画や、ぶっつけ本番の旅番組、俳句で地元の良さを伝えるバラエティー番組、さまざまな分野で活躍する四国出身者に焦点を当てる番組など、地域の魅力を発掘し、幅広い世代が楽しめる番組を届けていきます。四国が誇る自然や文化をスーパーハイビジョンでも伝えていきます。四国応援プロジェクト「ハッとホッとずっと」キャンペーンを継続し、より親しまれる放送局を目指します。

○地域の課題と向き合い地域活性化に貢献します

２０１９年は平成が終わる年です。四国や愛媛がたどってきた３０年を振り返るとともに、地域の将来を視聴者とともに考えます。人口減少や伊方原子力発電所の安全対策など、愛媛県が抱えている課題をニュースや番組で多角的にわかりやすく伝えます。観光客誘致の動きや地域活性化の事例なども積極的に発信し、地域の発展に貢献します。

○“東京２０２０”に向け地域のスポーツを盛り上げます

「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す地元アスリートの活躍を積極的に伝え、近づく東京大会への期待を高めます。高校野球など関心が高いスポーツは、中継だけでなくホームページやデータ放送など多様なメディアで伝えます。サッカーＪ２に所属する「愛媛ＦＣ」の中継やサッカーＪＦＬ「ＦＣ今治」がＪ３昇格に挑む姿、プロ野球独立リーグの四国アイランドリーグｐｌｕｓやバスケットボールＢリーグの地元チームの動きなど、幅広く取り上げて地域のスポーツを盛り上げていきます。

高知放送局

○ 県民の命と暮らしを守る情報の発信に全力で取り組みます

県民の安全・安心の拠点として、南海トラフ巨大地震・津波、台風や豪雨などの災害から一人でも多くの命を救うために体制を整えます。防災・減災に役立つコンテンツをさらに充実させるとともに、朝倉サテライトスタジオの日常的活用、放送設備の充実や訓練を行い、緊急報道に万全を期します。発災時には速やかに、放送やインターネットなどあらゆる手段を活用して正確・迅速に情報を提供し、県民の命と暮らしを守ります。

○ 地域のニーズに応えるニュース・情報を県民に届けます

地域の視聴者のニーズを分析し、期待に応える県域放送を届けます。平日午後６時台のニュース・情報番組は、県民の関心の高いニュースを深く取材し、生活の充実と地域の課題解決に貢献します。金曜午後７時台は、高知からの発信をさらに拡充し、さまざまなタイプの番組を通じて高知の魅力を発掘していきます。統一地方選挙（投票日・２０１９年４月７日、２１日）、第２５回参議院議員通常選挙（任期満了日・２０１９年７月２８日）、高知県知事選挙（任期満了日・２０１９年１２月６日）をはじめとする選挙報道では、正確な情報を公平・公正に伝え、有権者の信頼に応えます。

○ 高知の魅力を全国や世界に発信し、地域の活性化に貢献します

高知の人々が誇る、歴史や自然・食などの多彩な魅力を、地域に全国に世界に発信します。国際化が進む県内最大の観光資源「よさこい祭り」についても生中継や関連番組で多角的に伝えるほか、スーパーハイビジョンの超高精細映像など最新の技術を駆使して、高知の魅力を伝え、地域の活性化に貢献します。

○ スポーツ報道を通じて地域を盛り上げ元気にします

「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す高知県ゆかりの選手が奮闘する姿を伝え、応援します。地域に根ざし活動を続ける四国サッカーリーグ「高知ユナイテッドＳＣ」やプロ野球独立リーグの四国アイランドリーグｐｌｕｓ「高知ファイティングドッグス」の情報を積極的に取り上げ、県民と一体となって地域を盛り上げていきます。

○ 県域向けラジオ放送を充実させ、災害時にも頼れるメディアを目指します

午後５時台のラジオの地域情報番組では、天気や食などの身近な話題から命を守る防災情報まで幅広く伝えます。さらにインターネットラジオ「らじる★らじる」の利便性も伝え、災害時に身近で頼れるメディアとして定着させます。

○ 幅広い世代に親しまれる放送局を目指します

高齢者から子どもまで、幅広い世代に親しんでもらえるよう、テレビ・ラジオの公開番組をはじめ、市町村などの事業と番組を連動させ、地域に喜ばれる放送サービスの充実を図ります。データ放送やホームページなどデジタルサービスを積極的に活用し、視聴者との結びつきを強め、親しまれる放送局を目指します。

徳島放送局

○ 災害報道、緊急報道に全力で取り組み、地域の命と暮らしを守ります

　徳島県は、南海トラフ巨大地震、中央構造線・活断層地震と２つの大きな地震リスクがあり、台風・大雨では毎年大きな被害を受けています。津波対策、耐震対策等の防災対策、地域コミュニティーでの減災対策をふだんから発信して防災・減災の意識を高めてもらい、いざ災害が発生した際には、災害情報や避難生活、生活再建に必要な情報を、放送・インターネットなどあらゆるメディアを活用して全力で発信していきます。

○ 地域のみなさまがいちばん知りたい情報を届けます

　金曜午後７時台の地域番組と平日午後６時台のニュース・情報番組を両輪に、地域放送のさらなる充実に努めます。運営を巡って混乱した「阿波おどり」はどうなるのか、徳島県知事選挙（任期満了日・２０１９年５月１７日）など統一地方選挙で地域はどう変わるのか、夏の参議院議員選挙情勢、経済情報、食や文化、暮らしを豊かにする情報など、地域のみなさまがいちばん知りたいことを正確・迅速、公平・公正、ビビッドに伝えていきます。また、ラジオやホームページ、イベント等を通じて多くのみなさまと触れ合い、より信頼されより親しまれる放送局を目指します。

○ 徳島発で地域の課題解決のヒントを紹介します

　少子高齢化が急速に進む中、豊かな自然の中でクリエーティブな仕事をしようとサテライトオフィスが相次いで開設されています。サーフィンを楽しんだり、農林水産業の担い手となるために都会からの移住者が少しずつ増えるなど、活性化に向けたさまざまな取り組みが実を結んでいます。徳島での取り組みを検証するとともに新たな動きを掘り起こし、地域の課題解決のヒントを全国に向けて紹介していきます。

○ 伝えきれていない魅力を全国と世界に発信していきます

　日本の夏祭りを代表する「阿波おどり」やジャパンブルーの「藍染め」以外にも、「ソラ」と呼ばれる四国山地の山深い急傾斜地で古くから続く農業など、徳島にはもっと知ってもらいたい魅力が数多くあります。「すだち」以外にも食材は豊富です。スーパーハイビジョンやドローンも活用して豊かな自然や文化を記録に残し、全国と世界に発信して地域を盛り上げていきます。

○ 地域のスポーツを応援して地域を盛り上げます

　「東京オリンピック・パラリンピック」のメダルが期待される、バドミントン女子やパラリンピックの柔道をはじめ、サッカー女子やサーフィンなどで世界に羽ばたこうとする地元の若きアスリートを応援していきます。また「ラグビーワールドカップ２０１９」では、ジョージアのキャンプ地となっていることから、国際交流の新たな動きを紹介し大会を盛り上げていきます。サッカーＪ１復帰にかけるＪ２「徳島ヴォルティス」、プロ野球独立リーグの「徳島インディゴソックス」など、地域に根ざしたチームを応援することで、地域の活性化につなげていきます。

高松放送局

○ 災害時に、県民の命と暮らしを守る放送に全力で取り組みます

南海トラフ巨大地震では、香川県内も津波のリスクに直面しています。また、多発する台風や豪雨に加え、沿岸部では高潮の発生も懸念されます。こうした災害報道にあたっては、テレビやラジオの放送に加え、Ｌ字型画面・インターネット・データ放送を速やかに立ち上げ、県民が必要とする情報を迅速かつ的確に、きめ細かく伝えます。気象予報士による解説にも力を入れます。また、県域のニュース・情報番組やラジオ番組で、防災・減災に役立つ情報を発信します。

○ 香川県のニュースや話題をわかりやすく魅力的に伝えます

平日午後６時台の県域のニュース・情報番組は、その日のニュースを、時には解説も交えてわかりやすく掘り下げて伝え、“きょうの香川がわかる”放送を目指します。また香川ゆかりの人物や、県内各地の催しや話題、旬の食など、香川のさまざまな魅力を見つけ出して伝えます。金曜午後７時台の県域の情報番組は、地域に密着した話題、県民の関心が高いテーマを取り上げ、内容をさらに充実させ魅力的に伝えます。県民が岡山県の情報を重視していることを踏まえ、岡山放送局との連携も進めます。

○ 選挙や、地域の重要なテーマをしっかり報道します

４月には４年に１度の統一地方選挙が行われ、県議会議員選挙（任期満了日・２０１９年４月２９日）や高松市長選挙（任期満了日・２０１９年５月１日）などが予定されています。さらに、夏には参議院議員選挙も行われます。正確で公平・公正な選挙報道に努め、県民の信頼に応えます。また、香川県を訪れる外国人観光客が増加する一方、人口減少に伴う、働き手不足やＪＲ四国の路線維持の問題などが指摘されています。地域のさまざまな課題や変化を取り上げ、県民の関心に応える報道に取り組みます。

○ 地域のイベントを積極的に発信し、香川県を盛り上げます

２０１９年は、３年に１度の現代アートの祭典、「瀬戸内国際芸術祭」が開かれます。瀬戸内海の島々などを舞台に、さまざまな作品が披露される芸術祭を、ニュースや番組で積極的に取り上げ、島の魅力もあわせて発信します。さらに、スーパーハイビジョンやバーチャルリアリティーで撮影し、全国発信やイベントでの展開を目指します。また、開催２０回の節目を迎える、中四国最大級の野外音楽イベントを番組で取り上げ、地域を盛り上げます。このほか、午後５時台のラジオの地域情報番組では、地域のイベントなどで公開放送を行い、身近で親しまれる放送局を目指します。

○ “東京２０２０”に向け、地域のスポーツや地元選手を応援します

バスケットボールやバドミントンなどで、香川県ゆかりのアスリートが、世界を舞台に活躍しています。開催まで１年に迫った、「東京オリンピック・パラリンピック」に出場が期待される選手に注目し、ニュースやリポートなどで紹介します。また、パラスポーツの競技や魅力を紹介するとともに、共生社会への理解を深めるよう努めます。